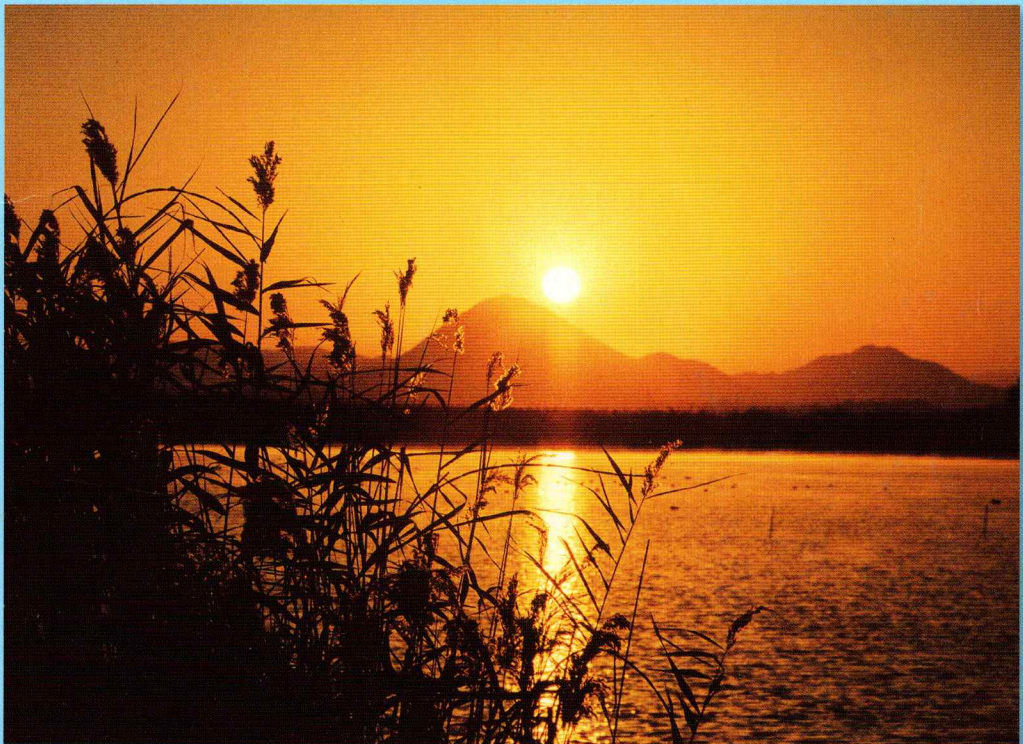


會 報

第 22 号



滋賀県レイカディア大学同窓会

同窓会活動の活性化の努力目標

- 1、地域ボランティア活動および魅力的な幅広い事業活動を積極的に行う。
- 2、支部間の交流をより一層活発に行う。
- 3、組織のより一層の活性化をはかる。
- 4、学校との連携および交流の強化をはかる。
- 5、レイカディア大学卒業生としての誇りと自覚を持って行動する。

憲章 必承はマニ、理想とに込め行政上の重要な原則。(児巻亮孝)

滋賀県レイカディア大学同窓会憲章

- 一、互いに助け合い、高齢者社会を生きる資質と実践力を高めよう。
- 一、心身の健康を保って、社会活動に積極的に参加し、高齢社会の支柱となって働こう。
- 一、古き良きものを伝承し、新しきを生み出して、郷土社会の健全な発展に尽くそう。
- 一、会員の研修及び母校の発展に寄与する活動を積極的、持続的に推進しよう。
- 一、社会の発展に即応する高齢者像の具現のために励みあい、提携し合う輪を内外に広めよう。

平成6年7月11日制定

滋賀県レイカディア大学同窓会

目 次

会長にインタビュー	2
滋賀県レイカディア大学同窓会会報22号の発刊に寄せて 滋賀県レイカディア大学学長 山田 新二 ...	6
平成17年度 本部のあゆみ	8
功労賞表彰・受賞の喜び	14
長寿者の日々・私の一日	20
支部のうごき	31
ボランティア活動	50
新入会員の紹介	60
平成17年度本部役員	62
物故者を悼む	63
編 集 後 記	64

表紙写真：近江富士の日の出

(守山・野洲支部 第23期 生活科学学科 高野隆男氏 撮影)

会長・インタビュー

今回は、会長就任2年目を迎え、就任時の思いの達成状況や同窓会活動を鳥瞰的な立場で見るとの感想、今後の活動目標など多岐にわたってお伺いした話を紹介します。

松本 会長就任後、はや2年目に入りましたが、振り返っての感想や今後の抱負をお聞かせ下さい。まず、今年の高島支部での総会はいかがでしたか。

重みと華をいただき、盛大な総会

会長 高島支部での開催は16年振りです。県下のどこから参加してもちょっと一足あるので、内心案じていましたが195名と思いのほか大勢の出席者でした。

また、大学関係者をはじめ市制誕生間もない時期で、何かとお忙しい海東市長さん、岸田・市議会議長さん、玉垣・教育長さん、田中・市老ク連会長さんと多くの来賓のご出席を賜り、総会の重み付けと華を添えていただき大変感謝しています。

これもひとえに、池田高島支部長をはじめ支部役員の方々が、日頃から関係先との関わりを大事にしていることの証だと思っています。

熱心な議案審議が続く！
総会参加者 195名
大盛会でした！



功労賞授与 受賞者9名
皆さんご苦労さんでした。
これからも、頑張ってください。

25周年の目標、2,000名へ今一步

出路 同窓会創立25周年には、2,000名との就任時の思いは如何ですか。

会長 今年は卒業生の96%に当たる178名が入会しました。この結果、会員総数は1,915名で、目標まであと一步です。

ただ、卒業生が母校の同窓会に入らないのは、奇異に感じますが、今まで1,900名、入会率90%のラインを超えたことがなかったので、今年はこれを両方ともクリアーできて大変よかったです。



会長 奥村常治郎 さん

会長のプロフィール

1933年、滋賀県生まれ、草津市在住。
第17期文芸学科卒・草津・栗東支部出身。
支部長兼本部事務局長を3期勤め、平成16年5月15日の総会において会長に就任。
滋賀県レイカディア振興運営委員会委員。

母校との連携強化を

松本 今年このように好転したのは何が要因でしょうか。

会長 入会説明会で同窓会活動のほかに、会員の地域活動の実情や在校生の体験学習の支援など次の3点を挙げて、少し丁寧に説明しました。

その1つは、大学は、地域活動に熱心な会員のために「活動に参考になる講座」を昨年から開設されました。つまり、卒業後も地域活動に関わっている会員を対象に、活動の活性化に資するための講義を、在校生と一緒に受けることが出来るようになったのです。

2つ目は、大学が主催する「一般公開講座」の体験発表者を同窓会が推挙していることです。地道に活動を続けている会員さんにとって、自分の体験を発表する場を得たことは、やり甲斐もあり、また、その内容のすばらしさがいつも高い評価を得ていることは、本人はもとより同窓会にとっても大いなる誇りと思っています。

3つ目は、在校生は在学中にボランティア活動をすることが必須になりました。そこで、学生を受け入れてくれる会員さんや団体を大学へ情報提供して、在校生の校外実習を支援していることなどを説明しました。この結果、大学と同窓会の関わりが分かってもらえたのでは、と思います。

「名札」で、新風を

出路 目標人員まで今一步のところまで来たので、これからは脱会者が出ないよう支部活動の魅力づくりに心がけることが大事ですね。

会長 そのとおりです。去年、ある支部の総会に出席したとき、「出席者は名札を付けたらよいなあ」と言った会員さんがいました。その時は、役員さんの手間を思うと、「そうですね」とは言えなかったが、今年は出席者全員が「名札」をつけているのです。

総会後の宴会では、「名札」をチラッと見て、お互いの名前を呼びあつての交歓風景はよかったですね。役員さんも名札作りの苦労も忘れたようで嬉しそうでした。些細なことのようにですが、この辺の気配りや変化に会員さんは魅せられるのだと思います。そしてそれが脱会防止につながるのですね。

25周年は一通過点

松本 来年は同窓会創立25周年ですが、何か特別な企画はあるのですか。

会長 昭和53年に大学が創設され、その2年後の第1期生の卒業と同時に、同窓会が発足したので、今年の9月で満25年になりました。しかし、会計年度で言うところと来年が25周年にあたりますが、先輩から後輩へと確実に継承されている伝統あるわが同窓会としては、一通過点と認識し、現段階では特段の計画はしていません。

ただ、25周年という節目の年を契機に、一層の活性化を計りたいと思っています。



出路 貞子 さん
第16期 スポレク学科
中部支部副支部長

「びわこシニアネット」の活用

出路 具体的な活性化の思いをお持ちでしたらお聞かせ下さい。

会長 2つありまして、その1つは、「地域別懇談会」で「インターネット」を活用して情報交換しては、との提言がありました。

パソコンは時代の趨勢とは言え、まだまだ不慣れな人も多いのも事実です。しかし、手をこまねいては時代遅れのそしりを受けかねませんので、とりあえず、支部長を対象に、大学の平岡課

長や「びわこシニアネット」のスタッフとして活躍している会員さんに協力願ひ、年明け早々に勉強会を持つことにしています。その結果をみながら、実施可能な支部から「びわこシニアネット」を活用して支部活動の情報交換や情報の共有化を進めていきたいと思っています。

2つ目は、将来の会員増加を展望してのことです。つまり、昭和22年から24年生まれのいわゆる「団塊の世代」と言われる700万人の人が、2年後から定年を迎える年齢になるのです。滋賀県も例外ではなく、例年より約1万人多い2万4～5千人の人が新高齢者になるのです。

レイカディア大学は地域活動の大切さやその実践方法を、更に、趣味を活かした生涯学習の研修が受けられるすばらしい施設ですから、新高齢者の格好の受け皿となり、入学希望者が殺到すると思います。そこで同窓会は「レイカディア大学運営委員会」に委員を送っているので、機会の都度、次の点を提言していきたいと思っています。

1つ、「新高齢者を出来るだけ多く受入られるよう枠の拡大と米原校に陶芸学科の設置」

2つ目は、「卒業後の地域活動をより効果的に実施するために、大学と自治体は卒業生に関する情報のシステム化の促進を図る」つまり、双方の情報が密になれば、大学での研修を活かした効果的な地域活動が期待でき、卒業生も自分たちが地域で期待されていると分かればやり甲斐もあるというものです。

これらの提言の結果として、同窓会の地道な活動が理解され、多くの会員の増加が期待できるものと確信しています。



松本 秀一さん
第20期 文芸学科
甲賀支部副支部長

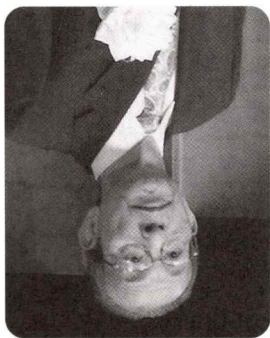
松本 今日、幅広い見識と同窓会への熱い思いをお聞きして、これからの支部活動の推進にあたって、力強く背中を押してもらったような気がします。

私たちも頑張りますので、会長も時には激をお願いします。

会長 みなさんの力強いご支援、ご協力を糧に頑張ります。みなさんも「われを褒めるは、一のバカ」と言う諺がありますが、いくつになっても向学心と地域愛に燃える誇り高きわが同窓会の会員を自負し、大いに自分を褒めて頑張らしましょう。

滋賀県レイカテニア大学同窓会 会報22号の発刊に寄せて

滋賀県レイカテニア大学
学長 山田 新二



滋賀県レイカテニア大学同窓会会報第22号の発刊にあたり、一言挨拶を申し上げます。レイカテニア大学は、昭和53年に設置された「滋賀県老人大学校」が前身ですが、開校以来3,700名を超える多くの方が卒業され、県下各地において、地域活動やボランティア活動に活躍されていることに、大学を運営しているものとして、たいへん心強く思っているところです。

我が国では、世界に類を見ない速さで、高齢化が進んでおります。高齢になっても可能な限り自立して、地域に関わりを続けながら暮らすことが大切です。併せて就労人口も減少する中で、社会における地域を支える高齢者の役割は、ますます期待されているところです。

先に実施しました、「高齢期の『居場所』に関する調査研究報告書」においても、地域活動やボランティア活動により達成感を感じたり、自分を向上させていると感じる高年齢の方が多数を占めております。このことは、広報紙じゆげむの夏号にも解説されており、表-1として添付しましたのでご覧ください。

さてレイカテニア大学では、平成16年度より在学中から地域活動を体験する取り組みを実施しました。学生の取り組みの中には、憩いの場である公園の樹木の管理に果敢に挑戦し、自分たちの技量を高め一方、安らぎの場の景観も高まり、結果として利用者や地域の皆さんからも支持されたという、まさに三方良しの取り組みが報告されております。このような成果が学内で多数共有されることは、卒業後の活動に示唆を与えるものと期待しております。

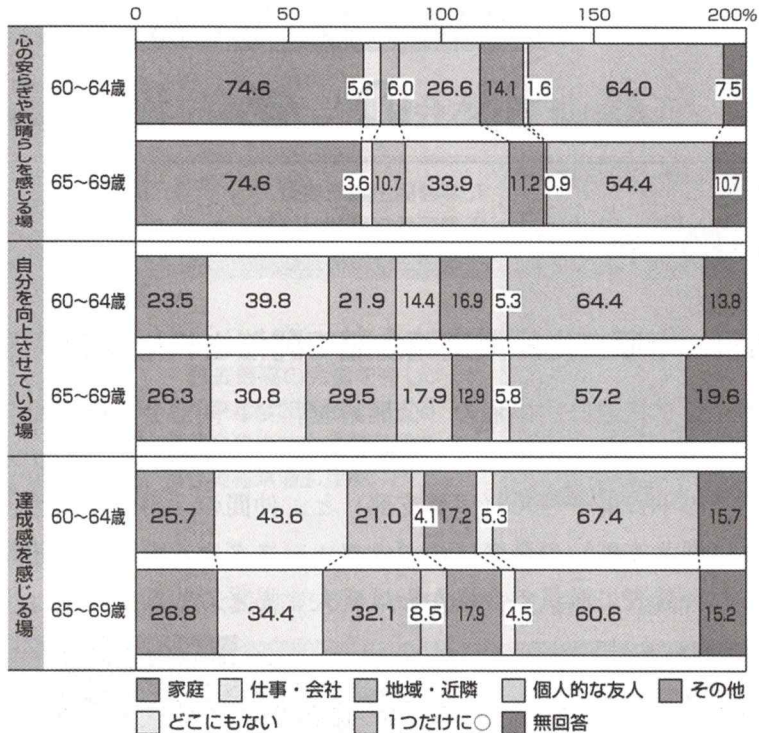
同窓会の皆さんには、今日まで培ってこられた豊富な知識や経験をもとにレイカテニア大学の学びを活かしていただき、地域の活性化に寄与していただくことを期待しております。滋賀県社会福祉協議会も「誰もがが地域で安心して、その人らしく暮らし続けることのできる福祉のまちづくり」に向けて、邁進する所存でございます。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、同窓会運営にご尽力いただいた関係の皆さんに敬意を表しますとともに、同窓会創立満25年と2,000人体制もまじかな意義ある年を契機として、さら

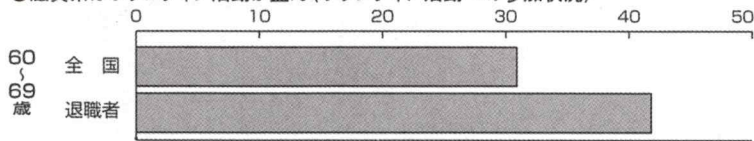
に今後の一層の発展と、会員の皆さんがさらにお元気で活躍されますことを祈念して、発刊に寄せての言葉といたします。

表-1

高齢期の居場所★アンケート



●滋賀県はボランティア活動が盛ん(ボランティア活動への参加状況)



※平成15年8~9月に県内の都市的域に居住する60歳以上70歳未満の退職者を対象にしたアンケート調査。
資料：全国＝総務省「平成13年社会生活基本調査報告」

なぜ退職男性の地域活動参加システムを早急に確立しなければならないのか！

ボランティア活動への参加状況を見ると、全国と比較して滋賀県の退職者の参加率は高い。「仕事・会社」という「居場所」を代替できるのはボランティアだということになる。

しかしその場に行きつくにあたっての、男性は自ら仲間がづくりにくいという退職男性特有の課題も見えだしてきた。近江八幡市の退職男性への働きかけや八日市の遊林会の活動から、その仲間づくりのきっかけを用意すること、その仲間のかたちは、現役時代のピラミッド組織とちがってフラットでシンプル、出入り自由、みんなで汗をかいて結果が見えやすい、飲み食いがある、その活動が結果として社会に役立っている、という条件が必要ということがわかってきている。

ちょうど後数年すると、団塊の世代が大量に退職年齢に達する。その世代はそのボリュームからして「社会資源」となるのか「社会コスト」となるのか、後の世代に大きな影響を及ぼすことになる。それまでに、市町村エリアでその世代を地域のコミュニティー人材として生きがいを持って活躍してもらえらる仕組みを作り出し、県レベルでそのネットワークシステムを作り出すことが求められる。

北川 憲 司 (滋賀県社会福祉協議会事務局次長)

平成17年度

本部のあゆみ

1 体験発表

3月16日、米原文化産業交流会館で開催された公開講座

レイカディア振興財団主催の「公開講座」で、同窓会が推薦した会員さんが日頃のボランティア活動の成果を発表しました。

体験発表の小倉清子さん（甲賀支部）と、仲間の「手作り紙芝居」の実演、大野木千十さん（湖北支部）の発表につづきフォークダンスを演じる仲間のみなさん。

すばらしい発表に満員の会場からは盛大な喝采でした。



2 定期総会

5月14日、滋賀県レイカディア大学同窓会本部定期総会



高島市誕生間もない忙しい時期にご臨席下さった海東英和市長。

過去最高の会員を有し、また来年は25周年を迎える同窓会のますますの発展を誓う奥村常治郎会長。



平成17年度滋賀県レイカディア大学同窓会本部定期総会は、去る5月14日午後1時半から、16年ぶりに高島市新旭公民館で多くの来賓を迎え盛大に195名の会員で開催しました。

高島市は湖に面し、山々を背に、田植えがすんだ田園がひろがる風光明媚なところです。

提案の議案はすべて滞りなく可決、承認され、無事盛会裡に終了しました。

総会終了後、映画「近江聖人・中江藤樹」を鑑賞。



米寿慶祝者 計30名

皆さんいつまでも元気で長生きして下さい。

混沌の時代を生き抜く指針となる感動的な映画で大変好評でした。



3 地域活動貢献講座

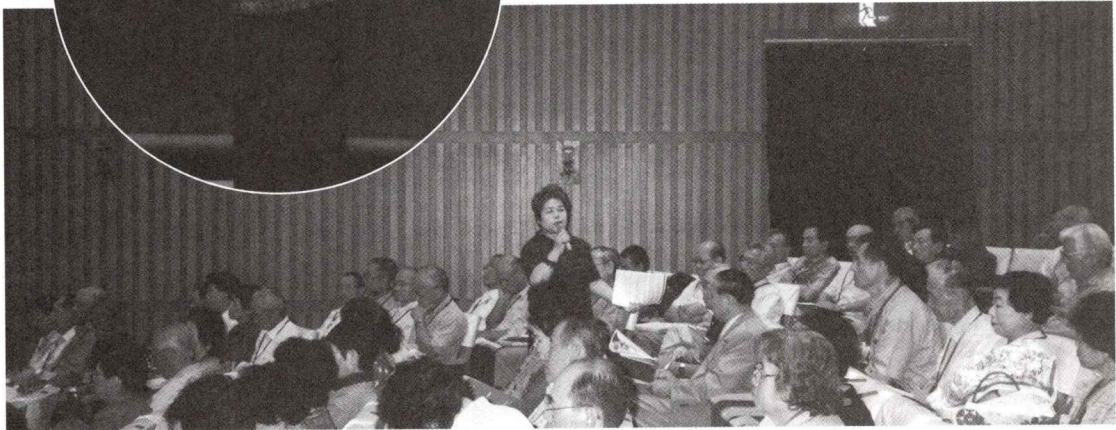
草津校：8月5日、米原校：9月1日に開催

草津校は8月5日、米原校は9月1日に開催された表記講座は、両校合わせて昨年より多い60名が聴講しました。

講師の白坂登世美先生は終始笑みをたたえての話術に一同引きづられながらも、出身地の高島市今津文化会館での催事をいかにして満席にするかの苦労話等々は、今後の地域活動の活性化に大いに参考になりました。



◀ 笑顔をたたえての白坂先生



▼ 壇から降りて会場一杯に話しかける白坂先生

4 同窓会入会説明会

草津：8月5日、米原：11日に開催

草津（8月5日）、米原（11日）両校で開催した表記説明会では、今年は同窓会の各種行事に加えて、在校生の校外学習のお手伝いなど会員の地域活動に関して大学との連携についても説明しました。

卒業後の学校の関わりが理解されたのか、96%の高い入会率で、1,915名と過去最高の会員となりました。

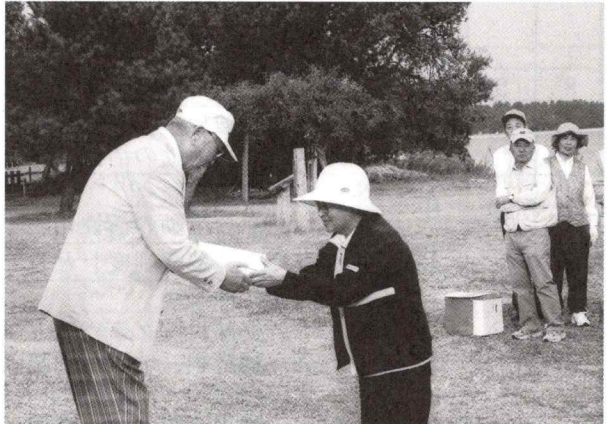
5 支部対抗グラウンドゴルフ大会

10月21日、萩の浜グラウンドゴルフ場で開催

10月21日絶好のスポーツ日和。琵琶湖を背にした景勝の地、高島市の萩の浜グラウンドゴルフ場で支部対抗グラウンドゴルフ大会が開催されました。

成績は常勝の守山野洲支部を破り、湖南・栗東支部が見事初優勝しました。

優 勝		
草津・栗東支部	総打数	325
準優勝		
守山・野洲支部	//	331
3 位		
甲賀支部	//	345
敢闘賞		
大津支部	//	345
近江八幡支部	//	347
湖北支部	//	349
湖東支部	//	358
中部支部	//	371
高島支部	//	372
個人賞		
野上雄三 (湖東支部)	打数	49



92歳の赤瀬川イチエさん (甲賀支部) の勇姿に喝采。

高齢化社会にふさわしく、背筋もぴんと張り、打ったボールを小走りに追う姿には、とても92才とは思えないすばらしい動きに大喝采でした。



7 平成17年度 予 算

I. 収入の部

単位：円

項 目	17年度予算額	16年度決算額	増 減	摘 要
前年度繰越金	75,705	259,465	△183,760	
会 費	1,351,000	1,294,300	56,700	700円×1,930人
総 会 費	0	543,000	△543,000	
別 途 繰 入 金	200,000	0	200,000	特別基金より取崩
雑 収 入	0	5,303	△5,303	ご祝儀など
合 計	1,626,705	2,102,068	△475,363	

II. 支出の部

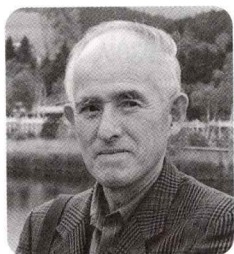
単位：円

項 目	17年度予算額	16年度決算額	増 減	摘 要	
会 議 費	総 会 費	250,000	839,125	△589,125	今年度は「親睦会」なし
	会 議 費	80,000	79,139	861	
	小 計	330,000	918,264	△588,264	
事 務 費	旅 費	200,000	189,980	10,020	
	事務消費費	10,000	8,782	1,218	
	印 刷 費	10,000	5,410	4,590	
	通 信 費	10,000	5,020	4,980	
	雑 費	10,000	13,366	△3,366	
	小 計	240,000	222,558	17,442	
慶 弔 費	400,000	362,392	37,608		
事 業 費	総 務 部 費	130,000	136,032	△6,032	
	研 修 部 費	30,000	18,466	11,534	
	広 報 部 費	380,000	368,651	11,349	
	小 計	540,000	523,149	16,851	
予 備 費	116,705	0	116,705		
合 計	1,626,705	2,026,363	△399,658		

III. 特別基金 - 取崩額 = 差引

600,465円 - 200,000円 = 400,465円

功労賞表彰・受賞の喜び



功労賞受賞の喜び

大津支部 第15期 園芸学科

小林 郁 郎

ほかにも功労者の対象となる方があなかで、私を推せん戴き恐縮しております。

顧みて、平成6年に第15期園芸学科を卒業して、同窓会入会2年目から幹事役を引き受け、管内の会員との連絡係が最初の仕事でした。3年後に副支部長の一人として、同窓会運営に携わり、その間に会計も引受け、庶務事項の一部を補佐しながら現在に至っています。

大学在学中、学業として習得していた盆栽の育成について、当時地元公民館で小品盆栽クラブとしての活動されていた所へ加入し、他の会員と交流しながら毎月の講習会、毎年文化祭における作品展示会開催など私としてはお粗末な盆栽を披露しています。

こうした地元でのふれあいのなかで、学区社協とのかかわりが出来、4年前からその仕事に携わって現在も続けています。

また「住みよいまちづくり」の一環として町内に植栽された花木の管理を「緑化ボランティア」として草刈り、剪定、施肥などにその都度従事しています。

齢77才、今後も健康に留意しながら続けられることを念願しています。

末筆ながら功労賞表彰、有難うございました。

功労賞受賞の喜び

草津・栗東支部 第17期 園芸学科

花 田 賢 司



私の本業は護衛艦の艦長でしたが、サブの仕事として体育・スポーツを担当させられ、退職直前は重量挙げの三宅選手など金メダリスト4名を含むオリンピックを狙う100名の選手の運動部長の仕事でした。

体育・スポーツによる心身の錬磨は、総ての人に共通するテーマでありますので、地区や草津市の要請により「やすらぎ学級」「ゆうゆうびと講座」などでお話をしました。この度小学校6年間の皆勤賞しか貰ったことのない腕白坊主が、レイカディア大学同窓会から表彰の栄に浴し、感謝に堪えず厚く御礼申し上げます。

私達が小学生の頃は「バスケットをすると背が高くなる」「剣道をすると頭が良くなる」など体育方法の時代でしたが、1970年代からは「健康には何kmをスピード幾らでジョギングすると良い」など各人の健康・体力に依じての必要最小限の運動量を数字で示してくれる時代に変化しています。また、脳=心には、二つの心即ち①優しい・仲良し・社交の心があり、これは勉強・学習で発達するが②競争・技術・仕事をする第2の心、これは科学と勉強とスポーツをしなければ発達しないようです。こんなお話を聞いて頂ければ幸甚です。



功労賞受賞の喜び

守山・野洲支部 第11期 園芸学科
團 野 清 一

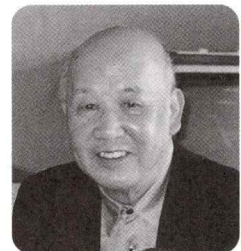
平成17年度本部総会において、私が功労者表彰で受賞するという、誠に身に余る光栄に浴しました。感謝の気持ちが一杯で、衷心より厚く御礼を申し上げます。

私は唯、「アタリマエ」のことを会員の皆様に助けられながら続けることができた幸せ者で、受賞に値する先輩が多くおられる中から選ばれたことを感謝し、頂いた記念品を前にして、反省し、気持を引き締めております。

ありがとうございました。

功労賞をいただいて

甲賀支部 第16期 陶芸学科
藤 田 利 治



平成17年5月14日、高島市にてレイカディア大学同窓会総会が行われ、思いがけなく私が功労賞をいただき、ありがとうございました。しかも当地は、近江聖人中江藤樹先生のゆかりの地であり、ここで、こうした賞をいただき光栄です。

私は生まれが出雲で、近江のことはあまり知りませんが、たまたま米子市の就将小学校の校庭に大きな中江藤樹先生の石碑がありました。

私が小学校の時でしたが、姉からこの石碑をみて、中江藤樹先生の偉大な功績を聞かされ、子供心に感動したものでした。それから70年以上が経った今日、中江藤樹先生生誕の地で、また、何となく因縁めいたものを感じております。

さて、レイ大で多くの知人を得させて頂き、本当にこれは私にとって大きな宝物です。旧甲西町には、老人クラブに陶芸教室があり、80人余りが陶芸を楽しんでおりますが、レイ大で陶芸を習ったお陰で、教室にても、それが大変役立っているのです。また、楽しみも得させてくれています。

終りにレイ大および同窓会の益々の発展をお祈りいたします。



功労賞受賞の喜び

近江八幡支部 第22期 園芸学科

岡谷 龍一

平成17年度の総会で、はからずも功労賞受賞の栄に浴しましたこと、私にとりまして、身にあまる光栄で、深く感激しているところでございます。今回、私ごとき者が受賞できましたことは、関係者各位の暖かいご庇護と、ご指導ご鞭撻の賜と、重ねて厚くお礼申し上げる次第でございます。

支部同窓会では、仲間入りして未だ日は浅く、何の役にも立っていないのですが、支部で企画された事業には、出来るだけ参加するよう心掛けております。

また、保護司を拝命して32年になります。少年達の多くは「分かってもらえない。自分の思いが伝わらない」「うまく話せない。相手に通じる言葉が見つからない」等の悩みを抱いております。今日携帯電話、パソコン、の普及で、対話の必要性がない社会だと言われております。少年達と心をいかに触れ合わせるか、相手を思いやる気持ちをいかに行動に移すか、等努力する必要があります。

非行少年の殆どが家庭内に問題があると思われれます。いつも笑顔で話し合いの出来る温かい家庭であれば、問題児はいなくなると確信しております。今般の受賞を機に私自身の行動を律し、地域活動に努力をしてまいり所存でございますので、今後とも相変わりがませぬご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

功労賞受賞の喜び

中部支部 第19期 スポレク学科
金山 准治



この度、図らずも功労賞をいただくことになり、私ごときが大変恐縮しております。私は副支部長、支部長をそれぞれ2年間、計4年間に渡り、いろいろな苦労もありましたが会員の皆さん方のご協力により、大過なく役目を果たさせて頂いたことを感謝しています。

私ごとですが、10数年前、健康志向と歩けブームの高まりを受け、私自身の定年後の生き方の一つとして、近府県からの働きかけや要望もあり、「滋賀県歩け歩け協会（現ウォーキング協会）」の設立に参画することが出来ました。徐々に会員の増加もあり、現在では県下を6つの支部に分け、各支部長を中心に組織の拡大を計りつつ、毎月1回の例会をこなし、いつの間にか10数年が経過しました。また県の組織にあやかって私の住む竜王町でも有志に呼びかけてグループを作り、“竜王歩こう会”の名のもとに月例会をもち、月々の例会も10数年、回数も130回を越えるようになり、完全に定着化しました。

なお、中部支部の年中行事の中にも“歩け”を取り入れ、会員の皆様に呼びかけて蒲生町の石塔寺やまた五個荘町の古い町並、八日市市の太郎坊宮、瓦屋寺などにも案内して大変喜んで頂きました。

私の関係して来たこれらの会が、今後共益々発展して行くことを願っています。

功労賞受賞の喜び



湖東支部 第11期 園芸学科
磯貝 澄男

平成2年9月に米原校第1期生として卒業しました年が丁度同窓会結成10周年に当り、新入会員を含む全会員投稿による会報「10周年記念号（第9号）」が発刊されて、同窓会の組織や活動の概要を知ることになりました。

米原校が開設された為に同窓会の会員も急増することになり、殊に近隣支部の湖北と並んで我が湖東支部でも2年間で倍増するという急増ぶりで、支部の組織・運営や活動もこれに対応して変革を迫られることになりました。

入会した翌年には、米原校出身で居住の地域的な関係から私に支部役員（幹事）として支部長から委嘱されて以来、昨年度支部及び本部の定期総会まで10年余り継続的に支部及び本部の色々な役員を勤めさせていただくことになり、本年度の本部定期総会の席上「永年ご苦労だった」ということで功労賞受賞の栄に浴することになりまして感謝感激の至りで心より厚くお礼申し上げます。

役員と申しましても甚だ微力で会の運営や発展に貢献することはあまり無かったと思いますが、ただ与えられた任務を生真面目に実行したに過ぎません。

省みますと、特に支部の仕事として取り組んだ最も印象に残っている事は、急増対策であります。その第一は会員相互の連絡網を整備することで、その為に中学校区別名簿の作成と各学区の責任者を決めること。第二は活動をし易くする為のブロック制の確立を含む組織の改編と予算配分の適正化、第三にはそれらを実施するための役員構成の改変と規約の改正であります。

これらの急増対策は支部運営の根幹に関わる重要な事業になりましたが、庶務・副支部長・支部長など夫々の役職を経験する中で、会員各位のご協力によって出来たことであります。

齢80才を迎え、本会はじめ自治会や老人会の役職もほとんど終わりましたので、今後は趣味活動に専念し、一層健康に留意しながら余生を楽しんで参りたいと思っております。

最後になりましたが、レイカディア大学並びに同窓会の益々の発展・繁栄と会員皆様方のご健斗を祈念致します。

功労賞受賞の喜び

湖北支部 第11期 園芸学科
松本芳雄



表彰・何んと爽やかに心に響く言葉。推薦されました時その器に非ずと内心忸怩たる思いでありました。今日までの道程において何程の値する業績もない私が厳肅なる総会の席上で面映い気持で一杯でした。

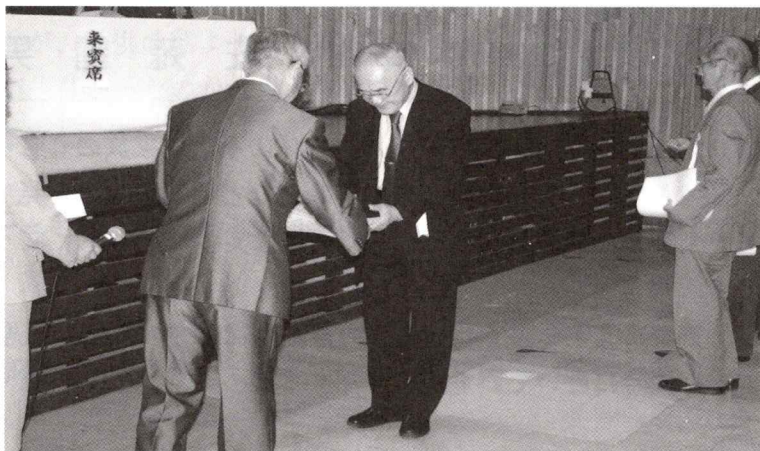
ふりかえると来し方が走馬灯の如く脳裏をかけ巡ります。卒業と同時に湖北支部同窓会の会員として五里霧中、先輩の一挙手一投足を手本に会員として名に恥じない行動をと常に心掛けておりました。日時を経るに従って役員末席に名を連ね、時同じくして湖北支部同窓会会誌発行の気運が盛り上がり、近江八幡支部諸兄の助言を得て創刊号が上梓されました。創案から3年有余を閲みし平成7年神無月の頃でした。叱咤激励を受

けた当時が今日仄かな思い出となって懐かしく蘇って参ります。ルビコン渡る思いで県レイカディア大学同窓会本部の役員として参画。綺羅星のごとく居並ぶ諸先輩からの心からなる指導・助言を金科玉条と肝に命じ、伝統ある本部同窓会の一員であることに誇りを持ち付和雷同を慎み、同窓会憲章を真読・当時が昨日の様に思い出されます。尚一層己を裏切る事のない生活に邁進精進したいと思います。後になりましたがこの度の慶事につきまして皆様に御配慮賜り厚く御礼申し上げます。

受賞にあたり

高島支部 第16期 文芸学科
川元 繁雄

『ええー、私が表彰してもらえるの。そりゃあ嬉しいことやけど、私にそんな資格があるんやろか?』「いやいや、長年レイカディア大学同窓会高島支部の役員として努めて頂き、支部の行事にも積極的に参加されていますし、地域内の他の会員にも行事参加を呼びかけて頂くなど、本部の表彰基準に充分合っていますからその点は心配なく」池田支部長さんとの会話の一コマですが、思えば、私がレイ大に入れて頂いたのが平成五年草津校第十六期文芸学科でした。爾来、今もって心に残る必修科目の数々、初めて学んだ和歌、何十年ぶりに握った筆の感触などすべて感動の連続であり、レイ大に学べる幸福に浸る日々でした。この感動をいつまでも持ち続けたい。一人でも多くの人にこの感動を味わって頂きたい。こうしたことから、レイ大卒業と同時に同窓会支部役員の一人としてお世話をさせて頂き今に至りました。この間地域内老人クラブにおきましても、色々な役職を引き受け、家庭を顧みる暇もなく東奔西走の日々が続いておりますが、こうしたことが関係者の目に止まったのではないかと考えております。受賞出来ましたことに対し、同窓会皆さんに厚くお礼申し上げます。



長寿者の日々・私の一日

長寿者の皆様に

右の①②③について

ご寄稿いただきました。

① 健康の秘訣

② 心がけていること

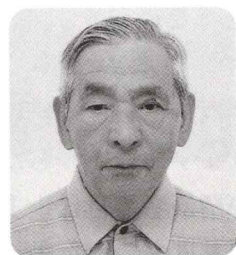
③ 続けていること



大津支部 第7期 陶芸学科 林 行雄

私たちは、1943年（昭和18年）大東亜戦争中4月に結婚し、10月に召集を受けスマトラに渡り、終戦はタイで迎え、1年6ヶ月目に復員しました。現役中はバタン、コレヒドール作戦で砲火の中、幸いに一命を授かり、現在は肺気腫を患い在宅酸素療法をして居り、米寿の今日迄、よく生き長らえて来られたのが不思議に思われます。持病の関係で息切れが酷く、未だ自動車を運転して居りますが運転中は精神が緊張して、自分としては脳の刺激になり、却って脳が活性化されると思っています。息切れの為、程々に時折朝方散歩して気分転換し、友人を作り、進んで会話をし、毎日を楽しく、苦勞かけた妻を介護し、今日迄生きられた事を感謝し日々を送って居ります。合掌

大津支部 第18期 園芸学科 佐 薙 雪 男



- ① 気持ちだけは明るく、年と共に体の不調や家族のことなどで気持ちは暗くなりがちなのでテレビなど明るいものを見て一人で大笑したり拍手をしたりして家族に笑われています。
- ② 気楽に文字を書く、指先きの運動と記憶力のためと思いテレビの題名や演者名などを同時に書いています。
- ③ 足腰の運動のため家の回りの掃除をしています。楽しんで熱中するため趣味としてテレビカメラなどを使って好きにプログラムなどを編集しています。



大津支部 第17期 文芸学科 吉村 敬一郎

- ① 若い時鍛えた体と自負していたが、去年の暮れから「ガタ」が来だし、現在坐骨神経痛、脚力弱で要介護（1）。ここで秘訣を述べる資格はありません。ただ今日迄生き延びることができたのは故郷土佐の高知で坂本龍馬と出会った時の話をしてくれた曾祖母（97才）母（95才）の遺伝だと思えます。又戦時中海軍で内地勤務ばかりであった（運）であったと思えます。
- ② （i）1日の出発の朝を爽快に。（ii）身体と頭を適当に使う。（iii）無理をしない。（iv）ストレスをためない。上記に対応して次の項を記しました。
- ③ 起床時入浴後コップ一杯の水を飲む。快便安眠のもと。太極拳気功体操（25年）俳句短歌（10年）昼寝一時間（15年）。絵をかくことが好きな私はこれでストレス解消。友人達に月2～3回絵手紙を送る（8年）。
「大正のスペイン風邪をくぐり抜け昭和の戦生き延びて今日」これが現在の心境です。末尾ながら米寿お祝いをいただき有難うございました。

大津支部 第9期 文芸学科 西村 品造



- ① 健康に生んで頂いた父母に感謝しています。亡母も妻も専業主婦で、食材は質素でしたが、子供の頃より現在言われているような食事をしていたのが、良かったのかと思っています。自分での秘訣はなにもありません。
- ② 気持ち、身体が年寄りくさくならないよう、規則正しい日々を送るよう心がけています。
- ③ 現職から現在まで60年事務的な仕事をしています。その間に園芸、旅行を楽しんでいます。



草津・栗東支部 第17期 生活科学学科 **吉倉 定一**

- ① 手作り納豆を毎日食べて健康づくり。健康で快活にすごすには、毎日納豆を食べることが一番です。スーパーの惣菜売り場へゆくと、水煮大豆がビニール袋入りで売っています。それにカップ納豆1個を弁当箱位の容器に入れてよくかきまぜ、蓋をしてこれを電気毛布でくるみ、温度を37~40度に保つと10~15時間でおいしい納豆が安価に沢山出来ます。
- ② 「長寿は人間最高の芸術なり」とある学者が言っています。私も人生の節目の一つ「米寿」を迎えることができました。次の目標を「白寿」にしています。4年前に妻を亡くし独居老人ですが、家事一切自分でやっております。また痴呆老人にならないように各種団体にも所属し、生涯学習やボランティアにも努め、人己腹心気を世渡りの信条としています。
- ③ 日記を毎日つけています。大学ノートを横2段縦3段に仕切り、毎日の出来事、感想、時には思い浮かんだ俳句等を、昭和25年から一日も欠かすことなく。そのノートが50余冊にもなっています。今読んでみると長い人生の喜怒哀楽感無量です。これをもとに自分史のようなものを綴ってみようかと思っている昨今です。

.....●▶◀●.....

守山・野洲支部 第5期 園芸学科 **大西 憲司**

この度は米寿を祝っていただき、記念の品を頂戴いたしましてありがとうございます。

私は、レイカディア大学守山・野洲支部の園芸学科に在籍し、多くの方との出会いを通じ今までの仕事では経験できない楽しい時を過ごさせていただきました。

卒業期は5期で、その後大病もすることなく自適の人生でございましたが、今年の10月からシニアセンターティファニーに入所し、センター職員の介護を受けながら同年代の方と楽しく過ごさせていただいている昨今でございます。同窓会に何のお役にもたたず、申し訳なく思っております。

同窓会のご発展を祈念いたしまして、御礼のあいさつとさせていただきます。

(注) 平成17年9月急逝されました。御冥福をお祈り申し上げます。


守山・野洲支部 第9期 園芸学科 田中 一 男
「私の今日此の頃」

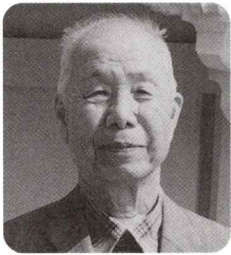
米寿を迎え皆様より祝福されありがたく思っております。此の度は又御祝いを頂き誠にありがとうございます。老後の人生は心に安らぎを得つつ、健康で一日一日を暮らし、社会に少しでも役立つ努力こそ、高齢化社会の中で肝要ではないでしょうか。

私も昭和60年頃にペタンクを初め今も続けております。その間、県ペタンク連盟及び町ペタンク連盟、町老人会連合会等にも進んで参加し、今日を迎えることが出来た事をうれしく思っております。

平成6年に大手術を受けましたが、その後薬の世話になりつつ、元気に一日一日を送って気ままな生活をしております。取る年で県ペタンク連盟及び町のペタンク連の役も今年で引退し、静かにこれから余生を楽しくすごしたいと思っております。

甲賀支部 第15期 陶芸学科 淵上 政 直


- ① 秘訣と言う程のものではないが、年と共に食欲も減少するのでビタミン類を取ろうと、60才頃より思いつき、時々食物で取りにくいビタミンを漢方薬で補って来ました。これが効をなしたか現在でも視力0.9歯は23本、聴力もよく、車は年間1万2千キロ走行して快適に暮らしています。
- ② 42才の初老の頃よりタバコをやめ、酒も深酒はせずに晩酌も1合程度、甘味はなるべく避ける。薄味のものを選び酢のものをよく食べる。野菜ぎらいのため、毎食後、果物を必ず食している。
- ③ これと言う運動はしていませんが、朝5時頃目を覚まし床の中で上向きに寝たまま足を交互に25度位の高さで上下して約50回位行います。足腰の筋肉を鍛えています。夜は21時頃外に出て軍隊式の運動を10分ばかり行い就寝する。其の外に週1回グラウンドゴルフに参加します。



甲賀支部 第7期 陶芸学科 眞鍋光徳

- ① 平成14年に心臓の不整脈で入院し、ペースメーカーを入れ、その間に内視鏡で大腸癌が見つかり、16年2月に開腹手術をし、15年1月に総胆石狭窄で開腹手術、17年8月に白内障で両眼の手術をして、現在はお陰様で元気で暮らしております。病後の健康維持のため朝のテレビのみんなの体操を毎朝し、親水公園の辺を30分余り歩いています。
- ② 家に引き籠らず外に出てたくさんの人と接触することが大切と思っています。自分にされていやなことは、他人にはしないこと。
やりかけたことは永く続けること。
- ③ 私は昭和61年9月に老人大学陶芸科（7期生）を卒業し、卒業後も水口碧水荘の教室へ6年位自転車で通い、窯詰め、窯焚き等を6年位やり平成元年に甲西町に陶芸教室を開設し、皆様のお世話をしましたが、後継の責任者に譲ってからは、約80名位の各教室で作陶のお手伝いをしています。
また詩吟の練習をしたいと云う友人と週1回自宅で練習をしています。

.....●●●●●.....

甲賀支部 第11期 文芸学科 大林源太郎

- ① 秘訣といえるようなものはありません。むしろ、それを求めてという生き方に危険を感じます。
- ② 無理をしないこと。バランスに気をつけること。
- ③ 食物をよく咀嚼すること。軽い体操をすること。姿勢をよくするための努力。





近江八幡支部 第7期 生活科学学科 辻 喜久枝

「長寿者の所感」

米寿のお祝いを戴き有り難うございました。健康に日々心掛け続けている事を記事にと指示されましたが、今年も元気に良い年を迎えられ、自転車に乗り市内を走り回っていました処、去る2月末、夜中腹部の激痛と嘔吐で翌朝はけろりとした状態、翌日受診をして胃薬をもらって帰宅、その後も1ヶ月毎の繰り返しにて、ようやく7年前に胆石を摘出した事を医師に告げ、エコーの結果、胆管結石と判りました。結石は又再発する事を始めて気付きました。この儘だと命とりになると言われ、手術する決心をしました。

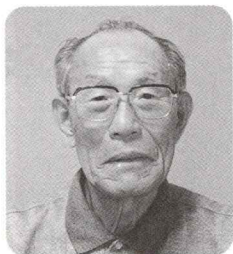
高齢のために手術に耐えられるか検査があり、胃カメラにて、小さなポリープが見つかり、カメラで除去するとの事でしたが、取り切れずに胆石と共に、6月23日大手術の結果、胃が半分になりました。今日まで胃痛も胃薬もあまり服用した事もなく、胃にポリープが宿っているとは思いませんでした。70日間の入院生活を終え、8月に退院致しました。現在半分の胃袋を大切に食事量を加減しながら、漸く平常心に戻り軽い歩行、植木の草取りやテレビを相手にしたり、読書など静養に努めております。

また、ゆっくりでも自転車に乗れるようになりたいと願っております。

近江八幡支部 第16期 文芸学科 鶴見 實



- ① 私の場合は秘訣と申上げる事はありません。何故ならば人生順風とは限らない、過去に大病になってこの世ともお別れかと思う事が再三あり高齢になる程多くなり本年も4～5月に体調を崩し入院し未だ後遺症のため完全に治癒せず歯痒い思いの毎日です。
- ② 日々是好日を願っています。何と言っても健康維持が一番、常に笑いを求めて些細なことを苦にせず今日一日の無事を感謝すること。
- ③ 体調がよくなく一昨年より介護保険によるサービスを週二回うけています。



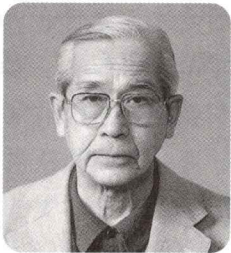
「長寿者の日々、私の一日」

- ① 今年は米寿のご縁で、多賀大社の筵寿祭と氏神の八幡宮の祈願祭で慶祝を受け、一層の崇敬の念を深め、長寿の喜びを実感しました。又五月の総会で人生の生涯の花道を祝福され、健康が何よりの贈物と感謝しております。自分ながらの健康法は夕食後のジョギングを続けている程度で、生かされている喜びに感謝して毎日を楽しく素直に生きる事が何より大切かと思われます。
- ② 人生の最も華やかな青春時代を過酷な戦争と言う悲運に捧げて、奇跡的な強運に幸いされ、悲劇のビルマ戦場から生き残りの老兵も米寿と共に戦後60年を契機に、『鎮魂』を主題に戦場で散華された戦友を追悼した回想録を刊行して、戦友、遺族を始め戦争を知らない人達にも、「あの戦争はなんだったのか」無謀な戦いの意義に理解を深めて頂く事にしました。
- ③ *陶芸教室：15年前に老大を卒業と同時に誘われて、水口の碧水荘に仲間入りして、月1回「壺」の作陶を生きがいに続けております。
*歴史教室：NHKの人気講座で月1回の現地研修に参加して10年にもなる。
*ボランティアガイド：県下でも早い結成でもう十数年になるが、長老として仲間になって、毎年の全国大会に参加して各地の情報交換を楽しみにしている。



- ① 私の日常生活は朝起きて、神佛参詣、ラジオ体操、畑作り、身体をよく動かします。食事はワカメ、ヒジキ等、海藻類、大豆、ゴマ、煮干は日光に干し細かく播って、毎朝味噌汁に使っています。1日30品目を目当てにして、一汁三菜を心掛けています。
- ② 人前に出ていくこと。趣味を持つこと。日赤奉仕団の団長を永年つとめて来ました。いつも奉仕の気持ちを心がけています。

- ③ 近くに不動堂と地藏堂があります。このお地藏さんが大阪奈良では「日野地藏」で有名で1年に3回は大勢でお詣りに見えます。昭和50年から毎朝熱いお茶と家で作ったお花をお供えすることが私の日課です。家族が健康で仲むつまじく暮らしているのも、そのおかげであると感謝しています。



中部支部 第5期 園芸学科 猪田 雅臣

- ① 友人を多く持ち、大いに会話を広げ、毎日を楽しく過ごす。また趣味を多く持つことと根気よく続けること。特に食事に気を配り、適当な、体力のつくバランスに富んだ食生活をする。

以上のことをしております。

- ② 年齢を重ねる毎に、日常において、何事にも頑固になりがちで、自分ながら困ることが多い。常に反省して、若い人達の気持も大切にしたい。これから私達の後と同じ道を歩んでくれる人達の、少しでも手本ともなりたい。あまり人の足を引っぱらず、互に手を取り、助け合いを心掛けたい。このようなことを思っているが、なかなかうまく出来ません。こんな願望です。

- ③ 若い頃より会社の先輩に誘われて、謡曲を趣味として続けている。多くの友人達と大きな声を張り上げ、プロの先生に師事して、けいこをしていると、体内よりの運動も兼ねられ健康に適している。友人達にも大いに趣味として、または遊びの一つとしてでもと、励んでいる最中です。

中部支部 第9期 文芸学科 小泉 藤次郎



- ① まず、何でも喜んで頂くこと。物事は、あまり苦しめない様に努めています。そして、日々は楽しく暮らすことです。

- ② 早寝早起き、一日一回の快便。昨日を忘れ今日を喜び、明日を楽しむよう心がけています。また、腹を立てずに、人にはいつも笑顔で接することを努めています。

- ③ この頃は、畑仕事やグラウンドゴルフで楽しみ、良く寝るよう心がけ、目を覚ましたら読書や俳句を考えたり、二合の晩酌も楽しみの一つです。

中部支部 第17期 スポレク学科 静 藤 吉

- ① この歳になると、特に何もしないこと。あれこれ考えないことと思っています。全くノンキな“藤サン”で居たいと思います。
- ② 自分のことさえできれば、な～んにもしないこと。
- ③ 自分は用事のため、車の運転は続けています。月1回レイ大同窓の集いに行くこと。町公民館のカラオケ教室で唄うこと。お寺参り年間18回。集落の老人クラブの行事参加などが自分の用事です。

湖東支部 第11期 文芸学科 宮 尾 計



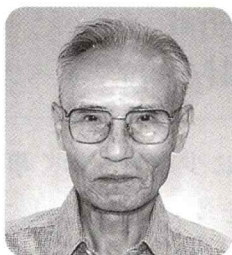
私88才までも健康で長生きさせて頂き、日夜神仏に感謝して居ります。朝起きて一番にコップ一杯の冷水を飲みますと体に刺激を与えて即便通があり、これで気分爽快で一日元気で晴れた日は畑仕事に精を出します。雨の日は疎遠の友に手紙を書いたりテレビや新聞を読み退屈すれば手芸をしたり、書の練習をします。私は自転車に乗れませんので、一日一万歩は歩きます。入浴もゆったりと浴槽に浸り乍ら手足の運動を何回も繰返します。風呂上がりに牛乳一本。これも一気に飲みます。晩は落着き本を読んだり、一日の出来事を日記に書き、金銭の収支も書きます。テレビのクイズも欠かさず、スポーツもよく見ます。就寝直前に養命酒を飲んで私の一日が終わります。終戦後北支より匪賊に襲われ乍ら、無一物で引揚げあれから59年の歳月が経ち、喜憂を共にした主人も亡くなって10年。気の合った友と旅行や観劇等楽しんでおります。難聴というハンデーがありますが、めげず健康に注意して明るい余生を送りたいと念じております。日曜はグラウンドゴルフを楽しく頑張ってます。


湖東支部 第11期 生活学科 北川 孝

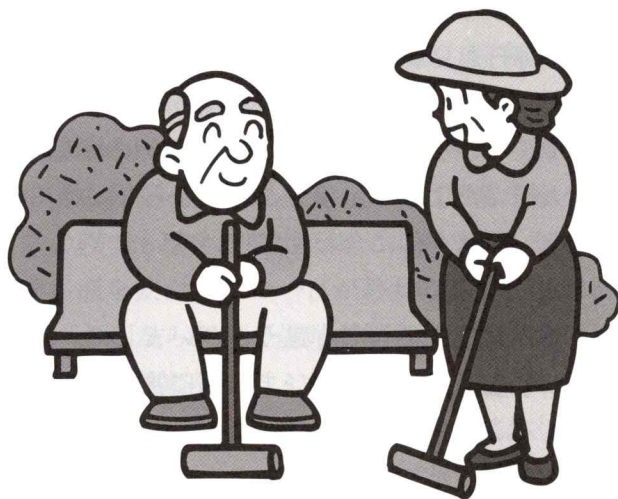
- ① 別にこれと云ってはありますが、一日に少しでも歩く事、又畑に出て日光浴をし、食事は季節の野菜を多く取る様になっています。
- ② 今日まで生きられたのも、家族の支えや、地域の皆々様の優しい心のお陰と深く感謝しています。今後共、神仏の御加護をいただき、明るく、楽しく、健康に心掛けて、家族に迷惑を掛けない様、又近所の年長者や足の悪い方等を時々一寸した手造り品を持ち訪問し、少しお話をして喜んで頂き、「又来てなー。待ってるで」と云われたりしています。
- ③ 天気のよい日には、午前中は畑に出て歩く事。少し日光浴をしています。親しき友達等を、目新しい野菜があると持って話し相手に慰めに行くように努め、喜んで貰っています。季節折々の野菜を作るのが好きです。
呆けない様にと「農協柳壇」に川柳を投句しています。皆様ありがとうございました。

湖北支部 第16期 生活学科 眞壁 きぬ


- ① 何事にもあまりくよくよせず、出来るだけ外へ出て畑の草取りや、体を動かす様に心掛けています。食事あまり油っこいものより野菜を多く頂いています。毎日お豆腐を食べます。
- ② 足が弱ったのか、良くころびます。なかなか治りにくいのでころばぬ様に気を付けています。出来るだけ自分の事は人様にたよらず足手まといにならない様にと、月に一度はお医者さんで検診をして頂き、お薬も体に合わせて頂いています。
- ③ 此の度は、思いがけなく米寿のお祝を頂きまして有難うございました。感謝致しています。もう力仕事は出来ませんが手藝が大すきで、ひま仕事に雑巾ぬいや御所まりを作っては人様にもらってもらいよろこんでいただいています。大正琴を10年程習いましたので、時折弾いては美しい音色にひたっています。



- ① 私は、多難な人生行路を今まで生き続けてきた陰に、周囲の人びとの多大なるご協力と自然の恵みをいただいたことを感謝しています。生命の尊さ、生きることの喜びの中に現在の自分の姿勢を見直し、いつも笑顔のもてる年寄りでありたいと思い、このことに勤めています。
- ② 昔から早起は三文のとくと言われるように、毎日晴雨にかかわらず、朝4時に起き、3キロ余の歩行に精励して、その上、畑、家のまわりの掃除草むしりにつとめていることと、隣人との良好なおつきあいにつとめています。
- ③ その他新聞を精読し、とくに天声人語については、朝必ず目を通しその後全紙面にわたって精読に勤めている。
私もこの年代まで元気で暮らさせてもらっていますこと、これ一重に皆さまのおかげと感謝して毎日を暮らしております。但し少々忘れっぽくなりました。

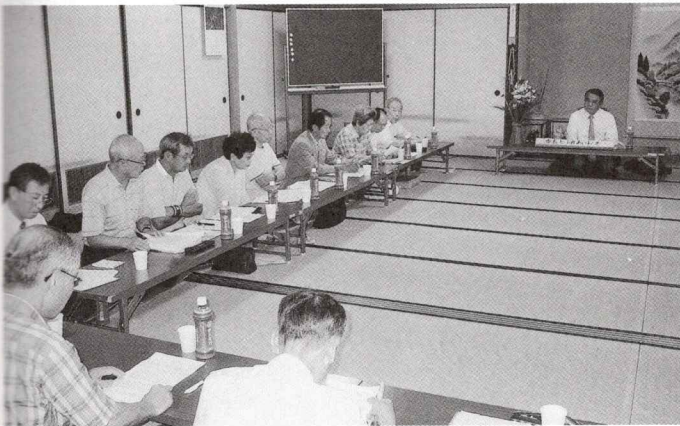


支部のうごき

大津支部

●大津市長とふれあいトーク

7月4日（月）10時から大津市打出浜老人福祉センターにて
レイ大同窓会大津支部役員20名が出席し、同窓会大津支部としての要望や、市民としての質問を行い、目片市長と和やかに意見を交換しました。



○大津支部グラウンドゴルフ大会を2回に亘り、開催

第1回：9月8日（木） 参加者19名

第2回：11月9日（水） 〃 12名

会 場：草津矢橋帰帆島

第1回目は県の支部対抗出場選手の選考を兼ねており、各自思い思いのプレーを楽しんだ。

第2回目は新入会員2名も初参加、絶好のスポーツ日和、新旧交じり親睦を兼ねつつ楽しいひとときを過ごした。

○「愛知・地球博」親睦研修旅行を実施

9月12日（月）45名参加、大津駅前市民センター前を7時40分出発、10時会場到着、各人思いつくまま広い会場をバス・ゴンドラなどで移動、待ち時間の少ないパビリオンを目当に見学をする。当日の入場者数は13万人とか、暑さにもめげず歩きまわる。帰りのバスも事故なく元気一杯、車中はゲーム、余興、笑いの中に終日をすごした。

草津・栗東支部

●グラウンドゴルフ大会

第1回

- 期 日 平成17年5月27日
- 場 所 草津市総合体育館
グラウンドゴルフ場
- 参加人員 47名

グラウンドの芝生は整備されてはおりませんが、小山が4ヶ所。慣れたベテランも難コースと見えたが、ホールインワン12回と続出、参加者の凄腕を感じる。

優勝は草津市在住80歳の鷹野さん。脚腰ピンピン、頭シッカリ、歩んだり走ったりのお姿は20歳も若く見える。本当に80歳かと名簿を再度見なおす。

今年9月10日現在、滋賀県での100歳以上の方々は去年より27名増え202名、日本で“老人”と呼ばれるのは90歳以上に変更されるべきだと確信した一日でした。

高齢社会の理想でなく、現実の姿、こうありたい、あやかりたい。

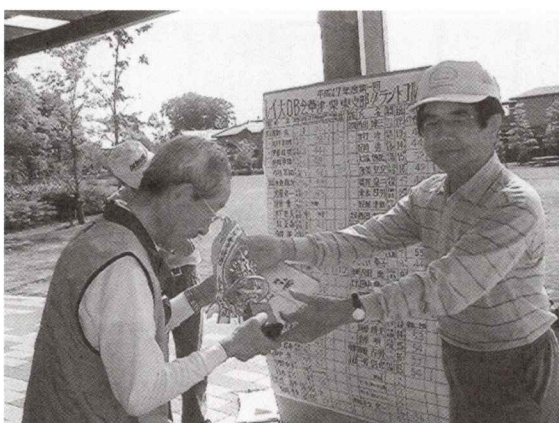
第2回

- 期 日 平成17年11月29日
- 場 所 草津市総合体育館
グラウンドゴルフ場
- 参加人員 41名

全員が楽しく、楽しく競い合う。

明るい笑顔は点数に関係なくプレーすることに“幸せ”を感じておられる様に見える。当たり前とはいえ、“手”と“足”が動くことは何にも替えられない至福でもあります。

上位の実力伯仲で支部対抗選抜選手の該当者が多くうれしい事実。今や、老年でなく、熟年でなく、青年パワーかと錯覚を起こす。いい時代の到来！



●日帰り 研修旅行

- 期 日 平成17年11月11日（金）
- 行 先 高野山
- 参加人員 34名



長い長い“ツヅラ折れ道”、弘法大師は木木多い山奥によくぞ目を付けられたと、そのご苦労にただただ驚異を感じ入りました。

昼食時、寺院「編照尊院」の精進料理で皆様にビールを注文するが、お坊さんから“お参りの前はダメ!!”の一言、モットモと納得。しかし、たしなむ方には申し訳ない。

高野山で墓面積が一番広いのは豊臣秀吉、さすが天下統一を成し遂げた英雄。

「奥の院」本堂の最前に元総理 池田勇人の墓、通路には岸 信介、佐藤栄作の寄進物、歴代総理大臣の強い信仰心に感心いたしビックリ。

小泉 純一郎総理は如何されるのでしょうか……………と思い巡らす。

全員が「奥の院」を走破、皆さん健脚で壮年の如し。“歩ける”ことに感謝、感謝。僅か10円の“賽銭”で“お願い”ばかりを八つ、九つ、とタクサン、タクサン。

弘法大師様も“アツカマシイ”と苦笑いをされているのでは……………。

皆さん若々しい。笑い、しゃべり、楽しみ、来年も期待しております。

守山・野洲支部

●第10回守山・野洲支部総会

元湖南支部から当支部が分離独立して、10周年を迎え総会を下記の通り開催。尚、事前に会員全員に記念品としてネーム入りのボールペンを配付しました。

- 開催日 平成17年5月24日
- 見学 総会前の恒例の見学は、草津市立水生植物公園みずの森で、季節のさつき盆栽と睡蓮の咲き始めを鑑賞。



みずの森入口で
出席者勢揃い

●総会 ホテル琵琶湖プラザ

支部全員106名中43名の出席で出席率は41%。本部奥村会長の祝辞と支部長から同窓会活動の活性化の努力目標5項目の説明と同窓会活動に対しての協力支援要請があった。議事に入り提案議案は滞りなく可決、承認された。

総会終了後は和気あいあいの懇親会となりました。



総会終了後、
会場にて

甲 賀 支 部

●一日研修旅行

甲賀支部においては、本年10月3日会員25名参加のもと中部国際空港（セントレア）



を見学しました。その後、知多半島の師崎で昼食をとり懇親を深めました。

セントレア空港展望デッキの会員の方々

●新入会員歓迎会

平成17年11月2日、水口町藤栄神社の社務所に於いて、新入会員歓迎会を開催しました。アトラクションには甲賀市内にある名木をスライドで鑑賞しました。参加者45名内新入会員15名。

新入会員を交えて
昼食をとりながら歓談する会員



●趣味の作品展

11月2日、3日の両日、水口中央公民館に於いて、会員の趣味の作品展を開催しました。

昨年より少し出展は少なかったが、素晴らしい力作ばかりでした。

●グラウンドゴルフ甲賀支部大会

甲賀支部は、グラウンドゴルフも盛んで年2回甲賀支部大会を行っていますが、この度、あらたに会の中でグラウンドゴルフ同好会を発足しました。



作品に見入る会員

近江八幡支部

今年も年間行事としてグラウンドゴルフ大会（2回）、バスにて研修旅行、成果展等実施して来ました。年度後半行事としては、会報編集発行、手芸教室、料理教室、ニュースポーツ、文化講座を各部リーダーのもとに計画しています。

今回はグラウンドゴルフ、バス旅行、成果展についてお知らせします。

●グラウンドゴルフ大会について

6月22日（水）参加者44名 近江八幡市岩倉何合^{いわくらなんごう}グラウンドゴルフ場

9月17日（土）参加者41名 近江八幡市運動公園グラウンドゴルフ場

6月22日の天候は曇天であったが9月17日は絶好のスポーツ日和に恵まれ、本部大会に備えての支部代表選手選考とあって全員熱の入ったプレーとなった。



●バス研修旅行

9月27日（火）快晴 参加人数40名

福井県一乗谷朝倉氏遺跡及び越前陶芸村を訪ねて

一乗谷朝倉氏遺跡では地元ボランティアガイドのユーモア溢れる説明に山間の山道も足が軽かった。午後は越前陶芸村を見学、日本海さかな市場でショッピング、帰路バスではビンゴゲーム、レイ大讃歌その他幼なじみなどの唄を合唱しながら全員元気一杯帰幡した。



●成果展

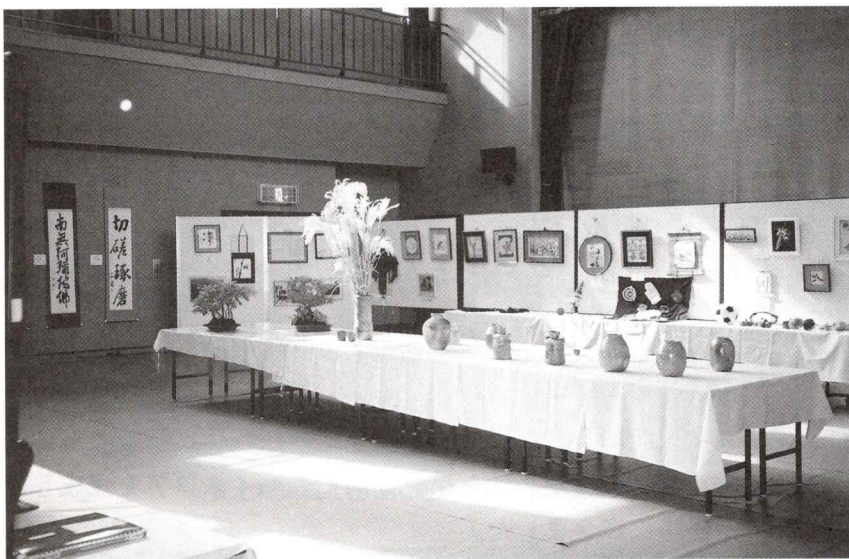
10月1日(土)～10月3日(月) アクティ近江八幡大ホール

出展者44名 出展数71

今年は会場を大きく移動してJ R近江八幡駅近くのアクティで開催した。全く初めての場所であり設営から後始末までかなり労力を費やしたが役員の協力により成功裏に終了した。

出展数が例年になく多く、かつ力作が数多く見られた。残念ながら鑑賞者が毎年より少ない感じはしたが、明るくゆとりのあるロビーソファで談笑する来館者もあって、それなりに成果はみられた。

近江八幡TV「HOT・TV」により撮影があり5日より放映された。



●市政功労者表彰並びに感謝状の授賞について

去る11月3日文化会館に於いて、佐々木顧問が長年に亘って納税行政並びに所属の観光ボランティアガイド協会の初代会長並びに顧問として、郷土の史跡のPRと観光客誘致に貢献された功績に対して、市政功労者として表彰の榮譽を受けられ、なおガイド協会会員の献身的な努力に対して感謝状の授与がありました。去る五月滋賀県知事から観光活動の貢献により表彰状の授与があり、重ねての榮譽となり、何れも同窓会憲章に則り郷土愛による奉仕活動に専念された努力に対して栄えある授賞となったもので同窓会員の範としてご同慶の至りに存じます。今回の榮譽を会報紙上にて慶祝申し上げます。

観光ボランティアガイド協会

現在会員数41名、内同窓会員12名



中部支部

●夕涼み“ビア電”交流会

ジョッキ片手に、湖東路を往復

ことし初の試みとして、近江鉄道が夏のイベントとして行う“ビア電”を利用し、支部の仲間の交流会を企画しました。8月2日開催と決めて参加者を募りましたが、マイカーが運転できない、帰りのバスがないなど、集合・解散地への交通便がネックとなって、わずか16名の参加と低調。

八日市～彦根の湖東路を約2時間、ジョッキ片手に、福引などの余興も含めて、参加者は少ないながらも楽しい一夕を過ごしました。

●グラウンド・ゴルフ大会

優勝はホールインワン3回の酒井さん

中部支部でも恒例の行事となっているグラウンド・ゴルフ大会を、9月13日に能登川町で開催。例年を上回る62名が参加して、初秋好天のもと27ホールのプレーに興じました。今回は全員が同じ弁当をいただきながら語り合ったことも、相互交流を深めたようです。結果、57打（ホールインワン3回）のハイスコアを達成した酒井直裕さん（能登川分会）が優勝に輝きました。

この大会の上位から選ばれた6名が、10月21日の本部グラウンドゴルフ大会に出場しましたが、今一つ実力発揮できず、8位に終わったことは残念でした。



62名参加のグラウンドゴルフ大会 開会式

●信長の里、安土を歩く会

歴史にふれつつ、のんびり歩こう会

歩こう会の参加者もこのところ減少傾向で、ことしは少し趣向を変えて実施しました。歩くとともに地域の歴史にもじっくり触れてみたいと考え、戦国の雄、信長が拓いた安土を訪ねることにしました。

10月5日、小雨の日でしたが28名の参加を得て、コースは欲張らず平坦地を約6km。浄厳院、沙沙貴神社、安土城考古博物館などを、観光ボランティアガイドの説明を聴きながらのんびりとたどりました。



安土城築城とともに信長が興した浄厳院見学を終えて



文芸セミナリヨホールのパイプオルガンがすごかった。

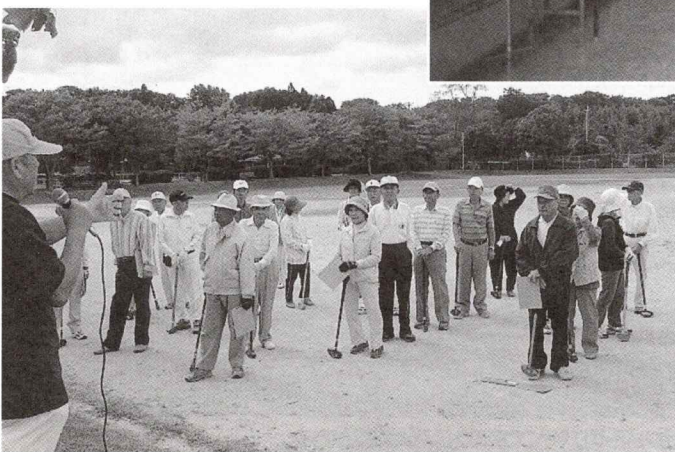
湖 東 支 部

湖東支部定期総会での
川並支部長の挨拶



新会員歓迎会での
新会員の自己紹介

10月8～9日に
開催した成果展



グラウンドゴルフ大会
折からの強風にかかわらず
北川慶子さん(19期スポ)が
見事に優勝



錦秋に一足早い百濟寺への研修ツアー

●平成17年度 主要事業

実施日	項目	事業内容	備考
5月7日	定期総会	会場：甲良町一休庵 議事：16年度事業報告、決算報告、監査報告 17年度事業計画、予算審議、役員改選等 講演：講師 石部清和氏 「生きる喜びと仕合わせ」	参加者 42名
9月22日	新会員 歓迎会	会場：甲良町一休庵 役員紹介、新入会員自己紹介（19名）他 アトラクション：馬場みさお社中（18期スポ卒）	参加者 72名
9月26日	グラウンド ゴルフ	会場：彦根市庄塚公園グラウンド 本部大会出場予選を兼ねる	参加者 42名
10月 8～10日	成果展	会場：秦荘町歴史文化資料館 作品：陶芸、盆栽、書、絵画、工芸、写真	参加者 55名
10月31日	史跡探訪	百濟寺探訪後、金剛輪寺荘へ	参加者 36名

湖北支部

●グラウンドゴルフ大会で女子選手が台頭

残暑が続く8月30日（火）午前9時より、高月町の河川敷のラブリバー富永グラウンドゴルフ場で、98名の参加者により「第6回 支部グラウンドゴルフ大会」が開催された。

厳しい残暑が心配されていたが、幸いにも薄日してもらえる程度の天候でコンディションも上々。場所も昨年と同じ場所とあって、参加者ものびのびとしてプレーを楽しんでいたが、ホールインワンに思わず飛び上がって喜びを体一杯に表しながら気色満面の顔。一方では、ホールに吸い込まれた筈のボールが、輪台からポロリと外れて渋っ面の顔、顔・・・。いつものことながら、悲喜こもごもの風景があちらこちらに漂って、スコアを記入する手も休めて、同情や、感歎の声が広がっていた。

支部では、この大会を県支部対抗グラウンドゴルフ大会の代表選手選考会としての位置付けをしており、優秀な成績をおさめた上位6位の方々を表彰の側ら、支部代表としての実力を認め合い激励してきた。例年は男子がほぼ独占の状態であったのに、今年は全く逆の現象で上位6人中、女子が4人も占めるといふ異例？な結果となり、さらには、3位から6位までの順位に6人も同点打数の対象者があり、いずれも甲乙つけ難い選手ばかりであったが、止む無くニアピンゲームで順位を決めるといふ局面もあり、全員協力の中で無事に終了する事が出来た。

●研修旅行はセントレアへ

湖北支部では、会員の親睦と研修のため10月28日（金）に、知多半島の師崎と中部国際空港（セントレア）への、日帰り旅行を実施した。



中部国際空港（セントレア）風景

当日は良い天気で汗ばむくらい暖かく、二台のバスは快調に南知多を目指して走行。車中は、久しぶりにお会いした方や11名の新会員との談笑で賑やか。配られたおやつや、飲み物を頂きながらの楽しい旅の始まりとなった。

途中に立ち寄った「えびせんの里」では、試食しているうちに味が解らなくなったと言いつつも、お土産はしっかりと買い求めた。また、「南ビーチランド」では時間の都合でイルカショーは見られなかったが、保育園児や小学生の団体に混じり、童心に返って珍しい魚に声をあげ、楽しいひと時を過ごし、「唐人お吉」の生地と言われる内海を通り、いよいよ楽しみの「鯛の活作り」の師崎へ着いた。

87名の参加者が一堂に介し新鮮な舟盛りや、珍しい魚料理に舌鼓をうちながら、賑やかな親睦会となった。ご馳走で満腹の一行は、その後「豊浜魚ひろば」で買い物を済ませて中部国際空港（セントレア）へ向かった。

セントレアは、関西空港よりは大分狭い感じであったが、コンパクトで美しく見学者の多いのが目についた。再来の時には「絶対に乗客として訪れたい」と、皆さんも思っているのではないだろうか？などと勝手な想像をしながら、一日がとても楽しく早く過ぎてしまった。

又、明日から元気に、ささやかながらレイ大同窓会活動に頑張りたいと思いつつ帰路についた。



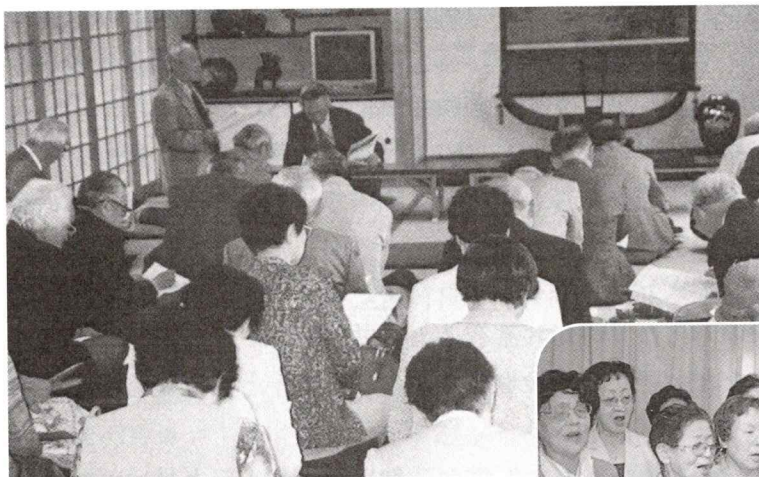
イルカショーが見られずガッカリの会員

高 島 支 部

●支部総会

5月20日（金）午前11時半より新旭町鳥居楼にて。

30名参加。総会后和やかに懇親会。2台のバスで送迎。会費4000円。



熱心に支部総会の議案の審議

懇親会が大変盛り上がる！
カラオケ大コーラス！



●支部初めての新会員歓迎会

9月30日（金）鳥居楼で12時前から役員9名、新会員2名の11名で、ビールを酌み交わし食事。和やかに、歓談。



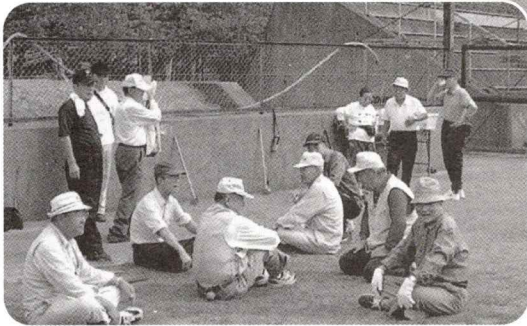
●第7回支部親善グラウンドゴルフ大会

10月4日（火）於新旭野
野球場外野の芝生

参加者17名 天候 今にも雨が降りそう。



池田支部長 あいさつ



1ラウンド終了！
休憩。歓談。

●一日研修会

11月10日、28名参加。

会費2,500円。

毎年35人ぐらいの参加なので、福祉バス2台を確保したのに、体調不良、急用、他の行事と重なったりで参加者が少なかった。



琵琶湖博物館でびわ湖に生息している魚やびわ湖の生い立ち等をたくさんの小、中、高の学生達にまじっていろいろと見学。



懇親会でビール、酒を酌み交わし歓談。大変楽しいひと時。親睦会を重ねる度に文字どおり親しくなる。「レイカディア大学讃歌」を大合唱し、再会を約し帰途につく。

1 総 会

支 部	開催日	参加人員	議案書の配布		アトラクション	
			事前全員	当日参加者	参加費	内 容
大 津	4月16日(土)	69名		○ 欠席者は後日	2,000円	会食懇談会
草津・栗東	4月15日	49名	○		3,500円	会食懇談会
守山・野洲	5月24日	43名		○	3,500円	ホテル専用バスにて 送迎 草津市立水生植物公 園 みずの森 見学
甲 賀	4月16日(土)	32名		151	1,000円	昼食懇親会 会員の体験発表1人
近江八幡	4月18日	68名		○ 欠席者は後日	4,000円	懇親会
中 部	4月26日	57名		○ 事後全員配布	1,000円 (昼食弁当代)	ニュースポーツ「デ イスコン」の体験
湖 東	5月7日	42名	○		3,000円	講演：石部清和氏 「生きる喜びと 仕合わせ」
湖 北	4月21日(木)	65名	参加者以外は 後日配布。	○	3,000円	懇親会
高 島	5月20日	28名	○		4,000円	懇親会

2 広 報 活 動

支 部	広報紙・誌の名前	発 行 回 数
大 津	かけはし	年3回(8月・12月・3月)
草津・栗東	かわらばん	年6回
守山・野洲	守山・野洲支部情報	年2回
甲 賀	甲賀支部だより	年2回
近江八幡	會 報	年1回
中 部	中部支部だより	年2回
湖 東	レイカディア大学同窓会湖東支部 支部会報	年2回
湖 北	会報「こほく」	年1回(毎年11月)
高 島	レイ大ミニ通信	年5回

3 その他の支部行事

支 部	行 事 名	参 加 費	頻 度	人 員
大 津	新入会員歓迎会 10月31日(月) 大津老人福祉センター	新入会員 無料 役員 1,000円		新入会員21名 出席役員16名
草津・栗東	グラウンドゴルフ大会	無料	年 2 回	91名
	日帰り研修旅行	▽ 6,300円	年 1 回	34名
	作品展	無料	年 1 回	29名
	新入会員歓迎会	無料		42名
守山・野洲	作品展 (17年 3 月)	無料	年 1 回	32名
	グラウンドゴルフ交流会 (17年 6 月、9 月)	無料	年 2 回	33名
	新入会員歓迎会 (17年10月)	無料		32名
	研修旅行 (17年11月 若狭路と国宝明通寺と神宮寺拝観)	6,000円	年 1 回	40名
甲 賀	支部グラウンドゴルフ大会	400円	年 2 回	37名
	親睦研修旅行	8,000円		25名
	会員趣味の作品展			13名
	新入会員歓迎会	1,000円		44名
	支部理事会		年 7 回	133名
近江八幡	グラウンドゴルフ大会		年 2 回	約80名
	研修旅行 (日帰り)	8,000円	年 1 回	約40名
	成果展		年 1 回	出展者50名
	手芸教室	教材 1,500円	年 1 回	20名
	料理教室	教材 1,000円	年 1 回	20名
	ニュースポーツ		年 1 回	30名
	文化講座		年 1 回	40名
	新入会員歓迎会	新入会員 無料 役員 1,000円		43名
中 部	納涼ビア電車で交流会 (8月2日)	3,000円	年 1 回	16名
	グラウンドゴルフ大会 (9月13日)	1,000円	年 1 回	62名
	信長の里、安土を歩く会 (10月5日)	500円	年 1 回	28名
	ふれあい軽スポーツの集い (11月22日)	無料	年 1 回	36名
湖 東	新入会員歓迎会	新入会員 1,500円 役員 3,000円		72名
	親睦グラウンドゴルフ大会		年 1 回	42名
	成果展		年 1 回	55名
	史跡探訪	2,500円	年 1 回	36名
湖 北	親善グラウンドゴルフ大会	無料	年 1 回	98名
	研修旅行 (日帰り)	▽ 8,500円	年 1 回	▽ 87名
	親睦ゲートボール大会	1,000円	年 1 回	40名
高 島	グラウンドゴルフ大会	無料	年 1 回	17名
	新入会員歓迎会	新入会員 無料 役員 2,000円		11名
	一日研修会 (懇親会)	2,500円	年 1 回	28名

4 グループ活動・同好会活動（含む・非会員）

支 部	種 目 名	人 員 ()は非会員 で外数。	世 話 人		会費/年
			氏 名	電話番号	
大 津	グラウンドゴルフ大OB会	20名	井上 弘	077-537-5746	1,000円
草津・栗東	なごみの里陶芸クラブ	10名	川村幸次郎	077-562-7127	1回 1,580円
守山・野洲	歩こう会	13名	井上 健	077-588-3136	実 費
	グラウンドゴルフ愛好会	15名	鳥居 義樹	077-583-2240	無 料
	絵手紙教室 俳画教室	10名	黒田 玲子 小林 仁司	077-583-1702 077-583-0773	実 費
	ゲートボール愛好会	10名	秋永 季次	077-583-0371	無 料
甲 賀	グラウンドゴルフ同好会	18名	橋本 元男	0748-88-3730	2,000円
	レクリエーションダンス 同好会活動	35名(25)	木田 勝彦	0748-62-4059	3,600円
近 江 八 幡	地域福祉活動ふれあいサロン	15名(12)	小根田守一	0748-37-0807	都度 200円前後
			木村 さだ	0748-37-6473	
			吉沢 脩	0748-37-1595	
中 部	八日市レクリエーション協会	15名(5)	西川 昭三	0748-22-5310	無 料
	レクダンス「水車クラブ」	45名(16)	萱原 登	0748-42-0180	3,000円
	竜王町ふれあいプラザ 「カラオケサロン」	町内4地区の 参加申込者	西村 泰蔵	0748-58-0658	500円
	ものづくりクラブ	21名(5)	浜秋 實		1,000円
	読書クラブ	10名(4)	辰巳 恭子	0748-46-2948	1,000円
	レクリエーションクラブ	25名(5)	宮下 美恵	0748-46-5028	1,000円
湖 東	甲良町ふれあい生きいきサロン	41名(14)	[代表] 川並 稔男	0749-38-2983	無 料
湖 北	陶芸サークル	17名(13)	田中 亮次	0749-62-3389	24,000円
	長浜ディスコン倶楽部	35名(15)	櫻迫 恒之	0749-62-7702	3,600円
	湖北フォークダンス研修会	50名	丹羽 昭夫	0749-86-2595	3,000円

5 ボランティア活動

支 部	種 目 名	人 員 ()は非会 員で外数。	活 動	
			活 動	頻 度
大 津	生涯学習 フェスティバル2005	若干名	大津市生涯学習推進会議に団体参加して おり10月22日(土)びわ湖大津館で 開催のフェスティバルに参加した。	年1回
草津・栗東	草津市観光 ボランティアガイド	29名(24)	草津市観光イベント案内。 草津市観光拠点案内。	年20回
守山・野洲	介護支援	4名	お話しボランティア	月2回
	環境保全	18名	花緑公園ガーデナーズ(20期園芸) 花緑公園樹木の剪定等公園の維持管理	月2回
	環境保全	24名	グリーンスターズ26(26期園芸) 花緑公園樹木の剪定と施肥等の環境 整備	月2回
			芦浦観音 樹木の剪定と施肥等の環境 整備	月1回
甲 賀	手づくり紙芝居	6名	老人ホーム・幼稚園	月2回程度
	手づくり紙芝居	15名(1)	高齢者ホーム・保育園・老人ホーム	月2~4回程度
近江八幡	マジック	1名	老人福祉施設訪問・保育所・子供会・ 敬老会	月1~2箇所
中 部	日野ダリア園	2名(19)	町内有志が地域活性化のため観光農園 を創設。ダリア主体に、果樹園、イチ ゴハウスを経営	1/3年程度 出役
	ガイドヘルパー点訳	1名(17)	東近江社協点訳サークル 自宅で常時点訳作業	月2回例会
	宅老所	4名	集落内民家を借りて老人の憩いの場づ くり、端切れ折紙の細工など	月4回
	車いすダンス	7名(8)	障害者と交流し、月2回練習。 ディサービスで交流参加(月1回)	
	通学路立番	3名	児童の交通安全のため通学路で立番	登校日毎日
	紙芝居	3名(7)	学校(小・中)幼稚園、保育園、施設等 で上演	要請の都度
	銭太鼓、玉すだれ	1名(11)	福祉施設、幼稚園、保育園、各種イベ ントに出演	月3回 練習/月2回
湖 北	横山はっぴ倶楽部	62名(58)	長浜市東部に、南北に続く横山丘陵地帯。 「探検、発見、ほっとけん」をモットー に、現在小学生から80代まで約60人の会 員が自然観察、歴史研究、食遊、夢未来 の5班に分かれて里山の活性を目指して ボランティア活動を行っている。	月2回程度
高 島	陶芸	1名	夏休み 陶芸体験教室	週2回

ボランティア

【大津支部】

ボランティア活動について

第21期 生活科学科 井上 栄

私達は「手作り紙芝居かえる座」と言います。回期、学科は違いますが、全員がレイ大の卒業生であり「高齢者の為の社会活動創造講座、学び生き生き遊、悠ゼミナー」の修了生であり女性六名男性七名のグループであります。修了と同時に県内の保育園、幼稚園、老人ホーム等でボランティア活動を続けて来ましたが、今回計らずも「第35回滋賀県芸術文化祭オープニングイベント第三回湖国アーツ☆バザール芸術総合見本市」と言う発表会が去る8月27日（土）、28日（日）に、ピアザ淡海で開催され、グループ全員で参加致しました。

この会は三つのジャンルに分かれていて、①ブース展示、生け花、紙芝居、折り花などの展示 ②交流ステージ、ダンス音楽、南京玉すだれなどの発表会 ③芸術体験ワークショップ、一般来場者の皆さんが実際に作って見てやって見ての体験コーナーと……「かえる座」全員が力を併せての①②③の全コーナーでした。自分達の作った紙芝居をブース一杯に展示し、ステージで演じて、そして一般の人達に紙芝居を作って貰い、演じて貰っての二日間でした。最後の後片付けが終わった時全員が、やったあー、出来たあーと言う満足感で一杯でした。普段の出前ボランティアは2～3名のグループに依る事が多いだけに、全員が揃って参加したこのアーツ☆バザールの成功は「かえる座」にとって又一つの大きな力と自信を与えて呉れたと確信致します。

この充足感と更に、前に向かっての飛躍感で「学び生き生き遊、悠社会活動」を続けたいと思っています。

活躍している
メンバーのみなさん



【草津栗東支部】

「ボランティア」で頑張っている人

第11期 陶芸学科 池田 正重

“センサー” “センサー” と黄色い声。

池田様は“生き生きと、ニコニコ”生徒のそばへ。

生徒の9割が女性、しかも、20台の乙女も多く雰囲気は明るい。作陶を押し付けず、のびのびと自由闊達、生徒さんの作品を目にし、ホノボノ感を見取る。

これも“センサー”のご性格が具現されていると強く感銘した。

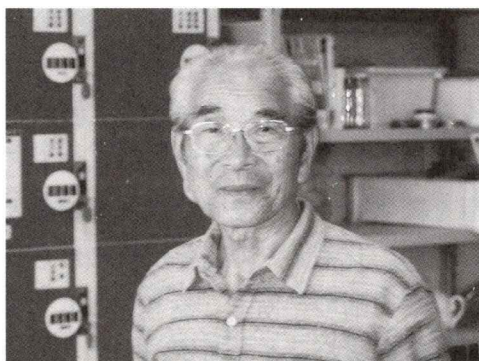
池田センサーの人柄は円満にして温厚、卓越した技量をお持ち。でも、決して奢らず、“控えめに”そして“控えめに”。

9年前、企業保養所の要請で赴かれ、月4回、往復6kmを自転車で皆勤され、努力と継続されている姿に敬服致します。生徒に慕われ、ご自身も気分よく指導され、“これぞボランティアの理想の姿”と確信。

一方、陶芸の“センサー”だけでなくウォーキングもされる。何回もご一緒いただきましたが、極めて健脚。脚力は30歳と見た。

強健な脚は故郷宮崎での山歩きで鍛えられたものと推察いたします。とにかく強い。毎回、「宮崎産蜂蜜入りショウチュウ」をご持参。ゴマ、青ジソ、ミカン…多種多様。口にすると“うまい”、“うまい”、絶品!! ウォーキングの人気者。

ショウチュウを口にされる際は、“センサー”でなく「好々青年」そのもの。



ボランティア精神を持ち合わせ、多くの女性に囲まれ、多くの人々に楽しみを与える池田様がうらやましく、かつ、立派であります。

「秘めた前向き精神」レイカディア大学卒業生の“誇り”とお見受けいたしました。

(文責 草津栗東支部長・三上善弘)

【守山・野洲支部】

レイ大とボランティア

第21期 生活科学科 柳本 政夫

現在私は幼稚園、高齢者の施設等で紙芝居や手品の演技を行い、皆さんに楽しんでもらっています。しかしボランティア活動について意識し始めたのは、レイ大にて、福祉の講義を聴き、高齢者の私でも、出来ることがある事を確信したからです。最初は特養入居者の車椅子散歩の補助。レイ大での実習が役にたちました。二年足らずで、足を痛め、断念、なにか他にと考えていたところ、紙芝居講座のことを聞き、ボランティア活動にいかせると考え、早速受講。しかし、ここで私の一つの誤算がありました。



それはこの紙芝居はあくまで手作りであること、自分で物語を作り、絵を画き、演技する。始めは四苦八苦、ようやく最近多少なれました。

さて、演技をして見ますと、紙芝居を連続した場合、疲れのせいか、集中力が無くなる感じが見られました。これを何とかしようとして思いついたのが手品でした。

これからも頑張ります。



【甲賀支部】

爽やかにいい汗かこうを合い言葉に!!

第22期 スポレク学科 木田 勝彦

レイ大OBの皆様、水曜日午前10時過ぎ東海道五十三次、51番目の宿場町水口へ来られる機会がありましたら水口中央公民館の前を通ってみてください。そしてガラス張りの2階に目を向けて下さい。青い山脈、おお牧場はみどり等若かりし頃を思い出す懐かしいメロディが流れてくるのを耳にされると思います。音楽に合わせ、純白(?)のスポーツウェアを着た元気な昭和一桁から昭和10年代生まれの一団が、爽やかにレクリエーションダンスを楽しんでいる様子が窓越しに見えると思います。

私はレイ大22期スポレク科へ同じ町から橋本黄市さんと入学し、卒業後はレイ大の基本理念の1つである「地域活動」を何かやりたいと相談し、卒業の翌年(平成14年4月)より「みなくち爽やかレクダンスの会」を発足させました。幸い当地区にレイ大で実技のアシスタントをされておられ、またレイ大の先輩でもある岡川さん、前出さんがおられるので講師をお願いし、さらに水口在住のスポレクOBの方々にもご協力をいただき、一般市民の皆さんに呼びかけ、現在会員数35名ではほぼ毎水曜日に「爽やかに、いい汗かこう!!」を合い言葉に楽しいひと時を過しています。回を重ねること158回(約3年半)レ



いい汗をかきながら爽やかにダンスを楽しまれるグループの人々

パートリーは25曲、しかし少し休むとすぐ忘れ、新しい曲には悪戦苦闘、からだの動きも悪いが頭の回転もなかなか思うようにならず、だんだんボケてきたかなァと、お互い爆笑を繰り返しながら健康である喜びをかみしめ、楽しんでいます。

定例会以外、2~3の取組みを紹介しますと、デイサービスセンター入所者とのレクダンスの交流、岡川さんが指導されておられる県内のグループとの交流会等々です。また、今年の秋の地域運動会には公民館の依頼を受け、オープニングにレクダンスを行い参加者と一緒に大きな輪になって大いに楽しみました。皆さんが元気で喜んでくださる笑顔を大切に、これからも「いい汗かこう」を合い言葉に爽やかにレクダンスを楽しんでいこうと思っています。

【近江八幡支部】

マジックでボランティア活動

第24期 生活学科 松村榮三郎

私は平成13年6月、満65才で会社を定年退職致しました。退職時子供から「お父さん退職したら趣味として手品でもしたらどうや」と言って市販の手品の教材まで与えてくれましたので、時間があれば練習をしていました。

レイカディア2年在学中に学科別に老人福祉施設の訪問がありました。当日は生活学科としての「出し物」は私の手品をすることになり、始めて利用者の皆さんの前で披露する機会を与えていただき、当日は施設利用者の皆さんから大きな拍手をいただきました。

私はたまたま地域で民生委員児童委員と近江八幡市の介護相談員の委嘱を受け、保育所や老人福祉施設等への訪問する機会がありましたので「緊張感と笑いを提供出来るのは手品である」と自分で確信し、ボランティア活動として始めました。最近は学区内保育所、近江八幡市内老人福祉施設はもちろん、子供会、ふれあいサロン、敬老会等で活動しています。今年8月に1週間HOTTVで私の活動が紹介され地域の皆さんから励まされています。

今後も新しい教材に挑戦し、ボランティア活動を続け、地域の皆さんのお役にたてばと思っています。



【近江八幡支部】

地域福祉活動 ふれあいサロン

第22期 小根田守一 木村 さだ／第23期 吉澤 脩

ふれあいサロンを町内で組織作りを進めて下さいと、社会福祉協議会から働きかけがありました。目的は地域の中でコミュニケーションを図り、少し気をつけたり、支援したりする「暖かい町」で暮らしやすいまちづくりと解釈し取り組みに入りました。一人暮らしの人、つれあいを亡くした高齢者、軽い障害で家にこもりがちの人、子育て世代で何かと相談したい人等、町内を見渡すとサロンに招きたい人が居ることに気付き、お役に立てるなら同期生を誘いサロンづくりを始めました。

物事を始めるには人・もの・金が必要です。人についてはレイ大の先輩、後輩の援助を取り付け、町内のボランティアグループや、日赤奉仕団に参画の要請をしました。事業プランを作り施設の利用と助成金支給の承認を自治会から得てスタートしました。

高齢者対象は、春は花見の宴、秋は新米の松茸飯で、楽しかった昔の思い出を語り、文化祭前は展示品の創作、手作りのクリスマスツリーは見事な出来栄でした。平月は折り紙や簡単な手芸、歌を唱いダンスに身も心もほぐれます。お帰りの表情は、にこやかで元気溼刺、満足頂いて解散です。



三世代対象は、7月七夕かざりを三世代が教え合う和やかさ、8月地藏盆はビンゴで大歓声、12月は餅つきで子供達が杵の取り合いで行列して餅をつきます。出来あがりをきな粉とあんこで幾つ食べたか競って、おおはしゃぎ参加者も大笑いの楽しいひとときでした。



資金はボランティアも含めて全員の会費、自治会と社協からの助成金で賄っています。施設がバリアフリーができていないので、障害者で来れない人には、その都度作品等を持参してお見舞いを続けています。早く改修が出来て全員参加のサロンが待たれます。

利用者から道で出会い、「あの日が楽しいわ、はようしてや」と言われると疲れも吹き飛んでさらに喜ばれるようにと頑張っています。

【中部支部】

ボランティアに明け暮れる日々を楽しむ

第16期 スポレク学科 宮下 美恵

料理、お茶、お花、書道、編み物、日本舞踊、新舞踊、銭太鼓、フォークダンス、車椅子ダンス……次から次と習得した趣味・特技が、宮下さんの口から飛び出す。かじりついたら中途半端はイヤだから、すべて人に教えられるところまで突き詰めたという。

これらの技能を生かして、安土町内はもちろん、湖東全域とも言えるほど広い範囲を、ほとんど毎日ボランティアで動き回っている。昭和2年生まれ、78歳。頑強とは見えないこの人の、どこにこれほどのパワーが潜んでいるのだろうか。

ボランティアへの取り組みは主としてレイ大を終えてから。卒業後3年を要したが「スポーツレクリエーション・インストラクター」の資格を取得して、福祉施設や老人会などでのボランティア活動で、構成や踊りの振り付けもできるほど技量を高めた。

日々多忙な中でもさらに時間をさいて、安土公民館の“寿大学”にも籍を置き、陶芸を習得、最近では水彩画を学んでいるそうだ。現在、中部支部安土分会長を担当し、2カ月1回開く分会内の研修活動（園芸・陶芸・生活・文芸）のお世話、指導にも余念がない。加えて安土文芸の郷のガーデニング、西の湖周辺清掃など、環境ボランティアにも取り組んでいる。

これだけ動く宮下さんだから、おのずと公的な役職就任も求められ、ボランティア連協ブロック長と、安土老人クラブ連合会女性部長兼ブロック長を現在担当している。

ボランティアに明け暮れる日々だが、宮下さんはこれを全く苦にされていない。身につけたものを自分が楽しく披露することで、皆さんにも楽しんでもらえる。人々とのふれあいで、学ぶことが一杯ある。「何よりも体を動かすことで健康維持ができ、ボケ防止にもなるんです」と、忙しさを楽しんでいる宮下さんである。

（文責 中部支部長・齋藤吉太郎）



安土町レイ大卒業生の研修（文芸教室）でお世話する宮下さん（短冊を手に立っている人）



安土町レイ大卒業生の研修（園芸教室）風景
お正月の寄せ植え

【湖東支部】

緑の少年団との関わり

第17期 園芸学科 森野 久章

レイ大園芸学科17期を卒業したのと同じ頃に、愛知川町では緑の少年団が結成されることとなりました。レイ大は地域のリーダーを養成し、ボランティア活動の推進を目的としている趣旨に則り、役場からの委嘱を受け団長になることを受諾しました。

愛知川町では小学校5・6年生を対象に緑の少年団を募集しています。年中行事は入団式に始まり、清掃活動と緑の募金、役場の花壇に花の苗木を植えたり、休耕田にコスモスの種蒔きや、ブルーベリーの収穫、梨畑での袋掛けや収穫、町内での農遊フェスタへの参加があります。県が主催する植樹祭やグリーンジャンボリーにも参加します。

子どもたちの楽しみは夏はキャンプファイヤー、冬は冬山交流会でスキー教室がありますが、これは一泊ないし日帰りで実施されます。私も子どもたちとスキーを楽しみました。

里山での体験学習には緑の大切さと、なぜ環境を守ることが重要であるのかを子どもにも判るように説明します。山では松が沢山枯れている。琵琶湖では、昔普通に食べていた魚介類が著しく減少している。その原因はなぜかと言ったことなど話題は色々です。

人間に都合の良い環境造りは、ややもすると自然破壊に繋がるのです。自然界では人間がいてもいなくてもどうと言うことはありません。しかし自然を破壊したら人間は生きて行けないのです。人間が大量に発生させる二酸化炭素を緑は吸収して澱粉に換え食料や、木材など恩恵を与えてくれています。山の緑は綺麗な水を蓄え洪水などの災害を防止し、山や農地の緑は地球温暖化防止に役立っています。緑は空気を浄化し心の安らぎを与えてくれます。



子どもたちと行動を共にしていますと、精神的に自分も若返ります。緑の少年団とは既に10年の関わりがありますが、総てボランティア活動です。相手が子どもでも、間違ったことを教える訳には行かないので、予め勉強しておかなければなりません。これもぼけ防止に役立っていると思っています。

【湖北支部】

木を愛し樹を可愛がり！

第18期 園芸科 深草 進

日本カルチャー協会より樹木博士に認定されている同氏は、必須科目の園芸科で培い、学んだ知識を活かす仕事が好きで、食事の時間も忘れてしまうほど没頭した熱の入れようで、正にボランティア活動に明け暮れる日々である。

現在、長浜市教育委員会からの委嘱をうけ、生涯学習の一環として「庭木と果樹の手入れ講座」の指導者として、毎月2回、講義や実技の指導を行っており、多くの参加者に深い感銘を与えている。また、シルバー人材センターにも会員登録をしており、各家庭を回りながら、庭木の剪定や盆栽の手入れ方法などについて、専門的な立場からのアドバイスや、労力を惜しまず、微に入り細にわたった手ほどきに関係者からの厚い信頼を得ている。さらには、地区（西黒田）班長として率先して清掃奉仕や、地区内の環境美化活動にも取り組んでおり、ボランティア精神の旺盛なレイ大卒業生でもある。

同氏は、長浜市緑の基本計画策定委員会の緑を育てていく活動に携わった一員として、樹木の育成には大いに興味や関心があるが、最近の里山のひどい荒れ方には落胆しており、茫然自失のような心境であるという。木々を伐採した後に植林も成されずに雑木や草などが伸び放題伸びて、全然手が加えられずに放置されている。ケアが施されていないのも一つの原因であると嘆いている。その意味も含め、現在、ボランティアグループとして活動されている「横山はらっぱ倶楽部」（主唱者 24期卒 文芸科 森川栄寿氏）に入会して、会員の皆さんとともに由緒のある横山の景観を大切に守りながら、樹木に風通しの妨げとなっている草木の伐採や遊歩道の整備に携わっている。

松の木に巣食う松くい虫（マダラカミキリ）の防除や、最近問題視され対策が急務と言われている原因不明の「菌」の繁殖で、落葉樹の葉が枯れだして樹木の立ち枯れ状態を防ぐためにも、木を愛し、樹を可愛がる精神に富んだ同氏には、ボランティア活動の要請が否応なしに乞われている。

（文責 湖北支部長・戸之洞貞夫）



【湖北支部】

陶芸ボランティアで三方よし

第25期 陶芸学科 中村 公一

レイ大卒業の1年目の今夏、公民館の陶芸クラブに、ガリバー旅行村（元高島町の野外活動施設）から、夏休み中の利用者を対象にした「陶芸体験教室」のボランティアの要請があった。

ガリバー旅行村には、すでに『焼杉教室』『葦笛教室』などがあるが、初めての「陶芸教室」にどの程度の利用人数があるのか、出役日数など予測不明の不安の中で始まった。幸いレイ大25期の志賀町の仲間と27期の陶芸学科の現役生1名も積極的に参加してくれてスタートした。

陶芸体験教室には、土日を中心に夏休み中の子ども会・家族ずれ・学生グループ等多くの方が利用、その殆どが陶芸は始めてという方たちであった。

まず、作陶の基礎知識や完成までの行程等を話し、その後は、思いおもいに芸術作品(?)の創作に取り組んでもらい、私たちは質問に丁寧に答えたり、教えたりに専念した。



家族ずれの中には、子供の夏休み宿題の作品づくりにお母さんの方が一生懸命になるなど、ほほえましい風景も多く見受けられた。作品を乾燥させ、素焼・施釉・本焼をして宅急便で送ったが、届けた作品の出来ばえや感想を聞きたい気持ちであった。

わずか2年間であったが、レイ大で学んだ陶芸の基礎知識がこんなに早く役立つとは思わなかった。利用者の皆さんには、楽しく土の感触に親んでもらい、思い出になる陶芸作品に喜んでいることと思う。私たちボランティアも利用者とのひと時を楽しくふれあい、忙しい中にも、快い疲労感と達成感を味わうことが出来てやりがいを感じている。施設側から、来年も協力願いたいとの意向であるので、それに応じたいと思っている。

当地（旧高島町）には、文化11年（1814年）頃から天保末年まで「他邦にも珍しい土」とされた地元の土で「音羽焼」が作られていたが、現在は完全に消滅している。「音羽焼」の復興に、夢と希望を持って陶芸を楽しんでいる。

平成17年度本部役員

役職	氏名	電話番号	備考	
会長	奥村 常治郎		草津・栗東支部顧問	
副会長	岩井 典弘		守山・野洲支部長	
	岩崎 進		近江八幡支部顧問	
事務局長	池田 邦治		高島支部長	
会計	城 宏衛		甲賀支部長	
常任理事	増尾 一雄		大津支部長／研修部副部長	
	三上 善弘		草津・栗東支部長／広報部長	
	岩井 典弘		守山・野洲支部長／副会長	
	城 宏衛		甲賀支部長／会計	
	木村 茂治		近江八幡支部長	
	齋藤 吉太郎		中部支部長	
	川並 稔男		湖東支部長／研修部長	
	戸之洞 貞夫		湖北支部長／総務部長	
	池田 邦治		高島支部長／事務局長	
	理事	岡崎 一郎		広報部
		斎藤 治子		総務部
西田 太治郎			総務部	
宇野 愛子			研修部	
岩井 豊治			総務部副部長	
黒田 玲子			広報部	
松本 秀一			広報部副部長	
中森 静恵			総務部	
岩崎 一雄			広報部	
馬場 利			総務部	
大久保 忠彦			研修部	
出路 貞子			広報部	
若松 實			総務部	
金子 良一			広報部	
南部 治男			広報部	
小谷 敏夫			研修部	
磯辺 健三			広報部	
古谷 美代子			総務部	
監事		木俣 信一		中部支部
		蘭 昭三		中部支部
顧問	佐々木 尚一		近江八幡支部顧問	
	門馬 三郎		大津支部顧問	

編集後記

会員相互のより深い理解と親睦を計るため、読む前にまず見易い、親しみ易い会報づくりに意を配りました。そのため、出来るだけ多くの写真を、そして文章はその説明程度にとどめるように意を配りました。

「功労賞受賞」の方々には意欲的な取り組みの様子を投稿いただき、今後の活動の指針として大いに参考にしたいものです。

各「支部」の個性ある活発な活動状況は、今後の支部の活性化に資するものが多々ありました。

「ボランティア活動」はレイカディア大学の建学の精神に則り、小地域での地道な活動ぶりがマトリックスでわかり易く掲載出来、こういう活動なら「わたしにも出来る」という指針になるのではと期待しています。

レイカディア大学同窓会は“前途洋洋”です。

寄稿いただきました皆々様に敬意を表し、心から感謝申し上げます。

(広報部員一同)

会報 第22号 編集委員

広報部長 三上 善弘 (草津・栗東支部)

広報部員 岡崎 一郎 (大津支部)

黒田 玲子 (守山野洲支部)

松本 秀一 (甲賀支部)

木村 茂治 (近江八幡支部)

出路 貞子 (中部支部)

金子 良一 (湖東支部)

小谷 敏夫 (湖北支部)

古谷美代子 (高島支部)



**滋賀県レイカディア大学同窓会
会報 22 号**

発行：平成 17 年 12 月 22 日

編集：滋賀県レイカディア大学同窓会
同窓会事務局

〒520-0072

草津市笠山 7 丁目 8-138

(滋賀県レイカディア大学本部)

印刷：大津紙業写真印刷株式会社

☎077-544-0190

